

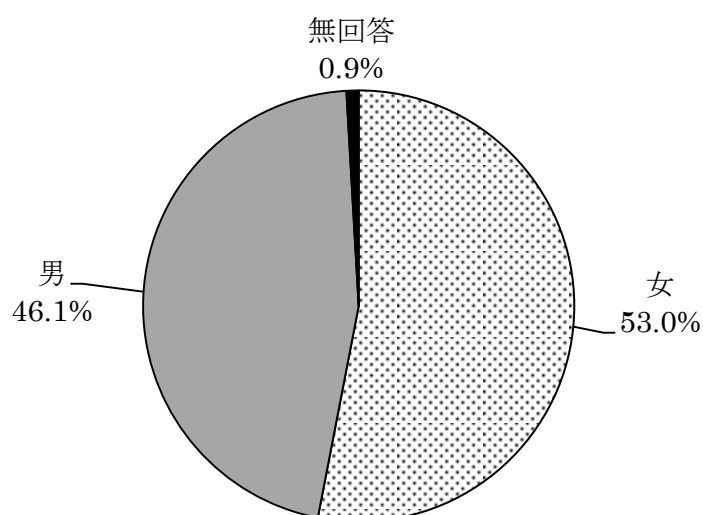
回答者の属性

問 1

【性別】

回答者の性別構成は、男性46.1%、女性53.0%となっている。

選択項目	人数	構成比
男	1,265	46.1%
女	1,457	53.0%
無回答	25	0.9%
合計	2,747	100.0%



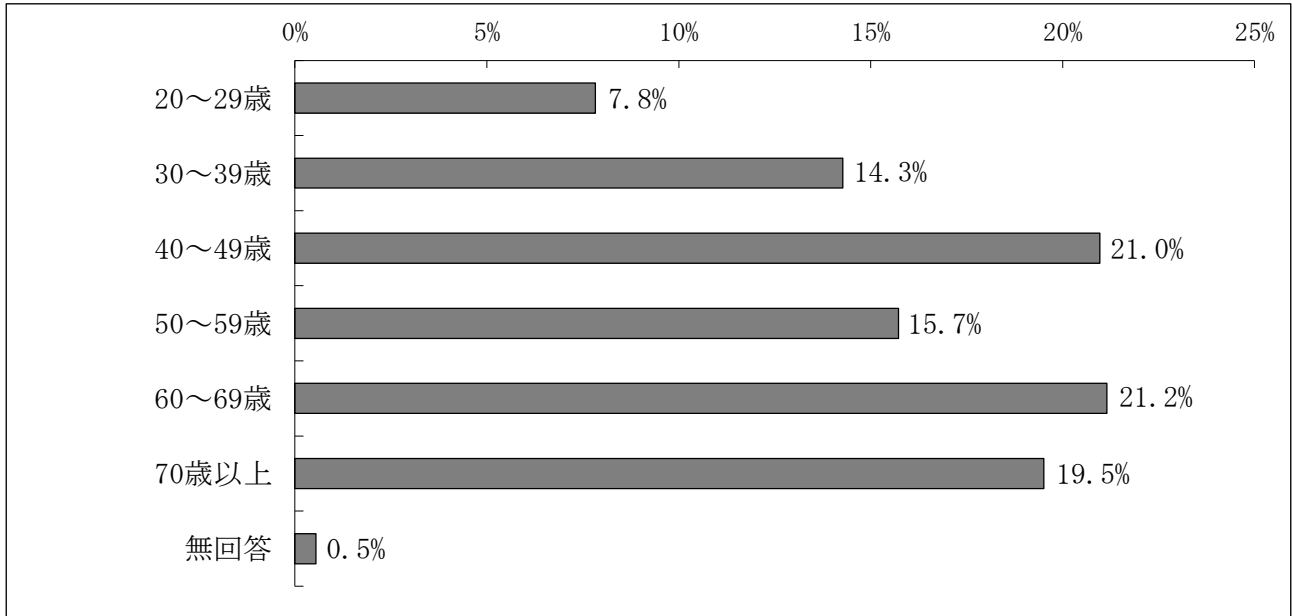
問 2

【年齢構成】

回答者の構成年齢は、60～69歳が21.2%で最も高く、次いで40～49歳21.0%、70歳以上19.5%、50歳～59歳15.7%と続いている。

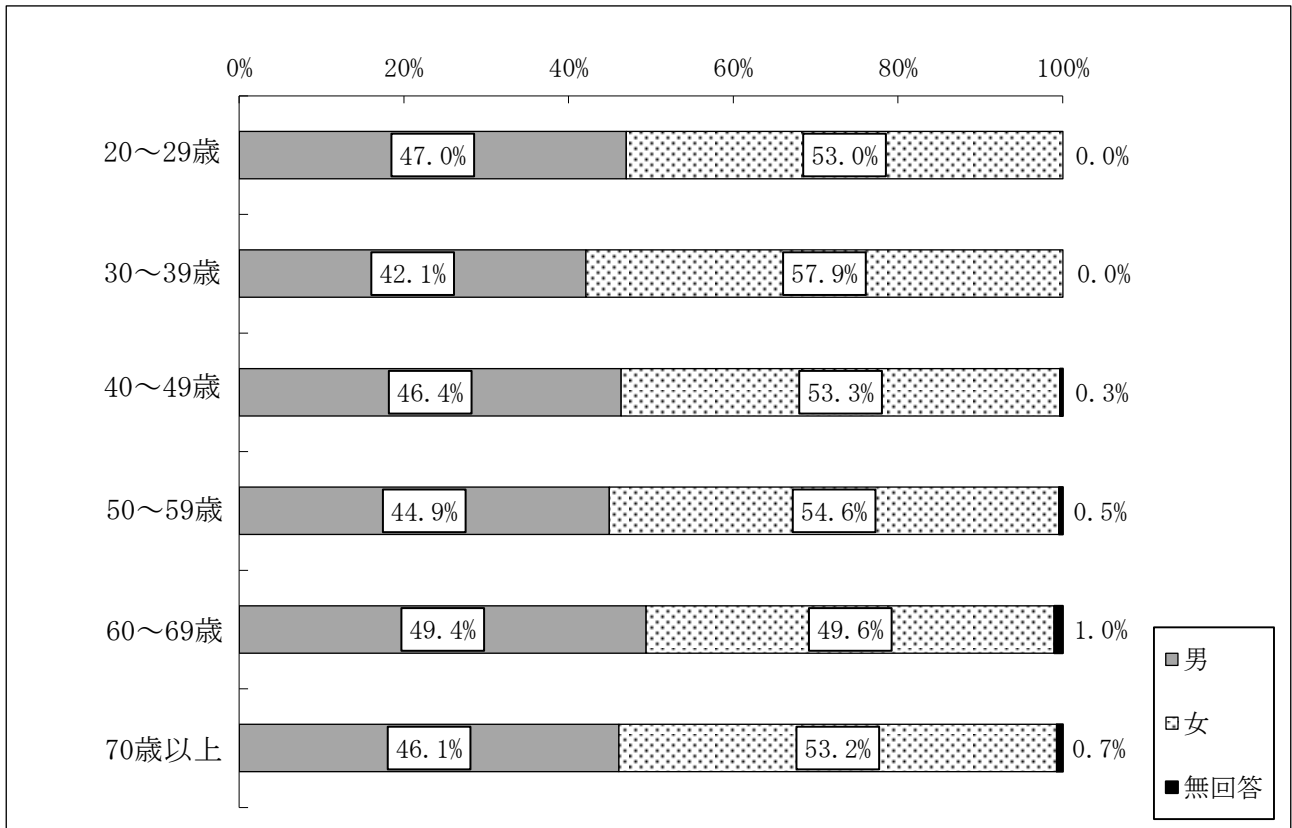
選択項目	人数	構成比
20～29 歳	215	7.8%
30～39 歳	392	14.3%
40～49 歳	576	21.0%
50～59 歳	432	15.7%
60～69 歳	581	21.2%
70 歳以上	536	19.5%
無回答	15	0.5%
合計	2,747	100.0%

回答者の属性



【年齢別／性別】

年齢別の男女別回答割合は、30歳代の女性の割合が57.9%と最も高く、全ての世代において、女性の回答割合が男性を上回っている。



調査結果の概要

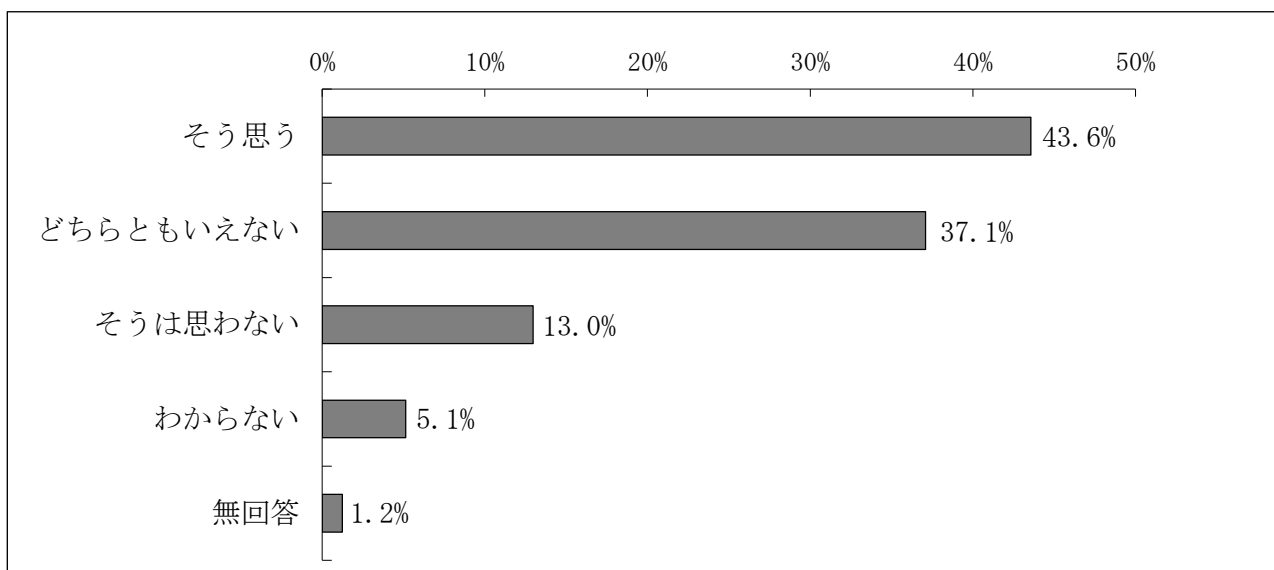
1 人権全般に対する意識・認知

問3 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思われますか。次の中から1つお選びください。

【全体】

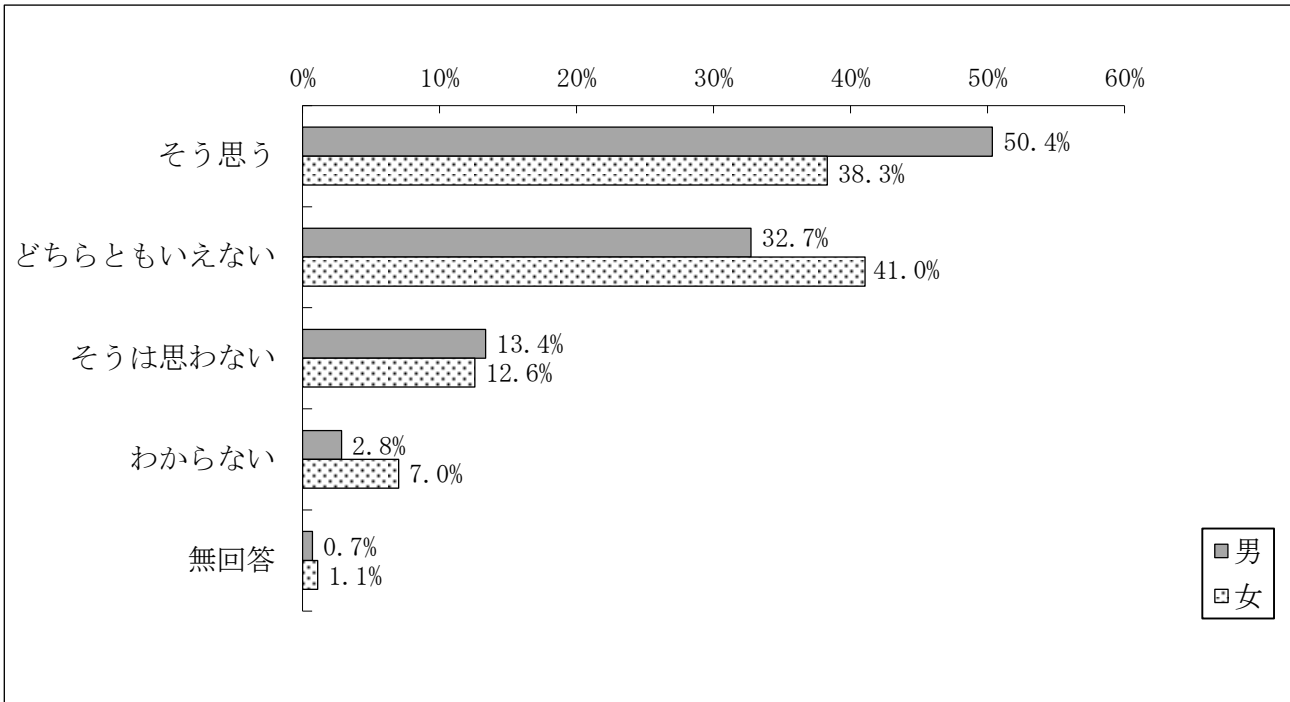
今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思われるか、という質問では、「そう思う」が43.6%で、「そうは思わない」13.0%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が37.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
そう思う	1,197	43.6%
どちらともいえない	1,019	37.1%
そうは思わない	356	13.0%
わからない	141	5.1%
無回答	34	1.2%



【性別】

性別で見ると、男性は「そう思う」が50.4%で、女性の38.3%を12.1ポイント上回っている。また、「どちらともいえない」は男性が32.7%で、女性では41.0%となっており、女性の方が8.3ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、「そう思う」が70歳以上で48.7%と最も高くなっており、20歳代では37.2%と最も低く、11.5ポイントの差が見られる。また、「どちらともいえない」が、50歳代で39.4%と最も高くなっている。

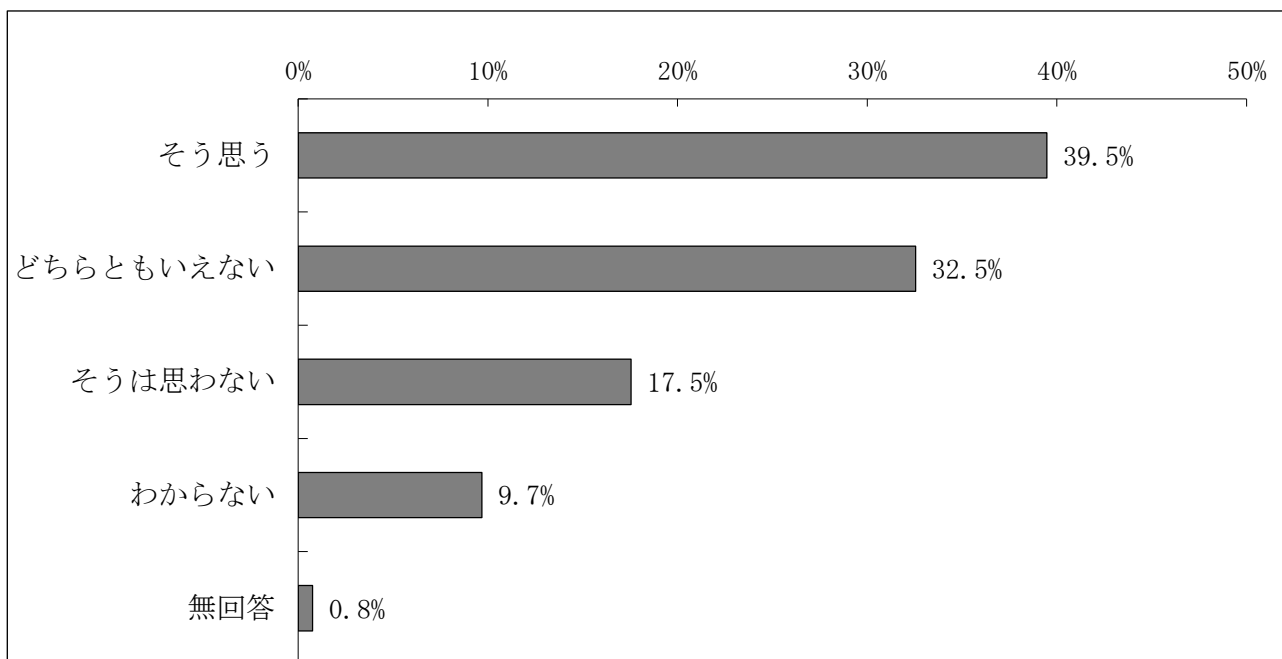
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
そう思う	37.2%	40.3%	43.2%	42.6%	45.4%	48.7%
どちらともいえない	36.7%	38.8%	38.5%	39.4%	38.6%	31.7%
そうは思わない	16.3%	14.0%	13.9%	13.2%	12.6%	10.1%
わからない	8.8%	6.9%	4.0%	3.7%	2.6%	7.6%
無回答	0.9%	0.0%	0.3%	1.2%	0.9%	1.9%

問4 国民一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思われますか。
次の中から1つお選びください。

【全体】

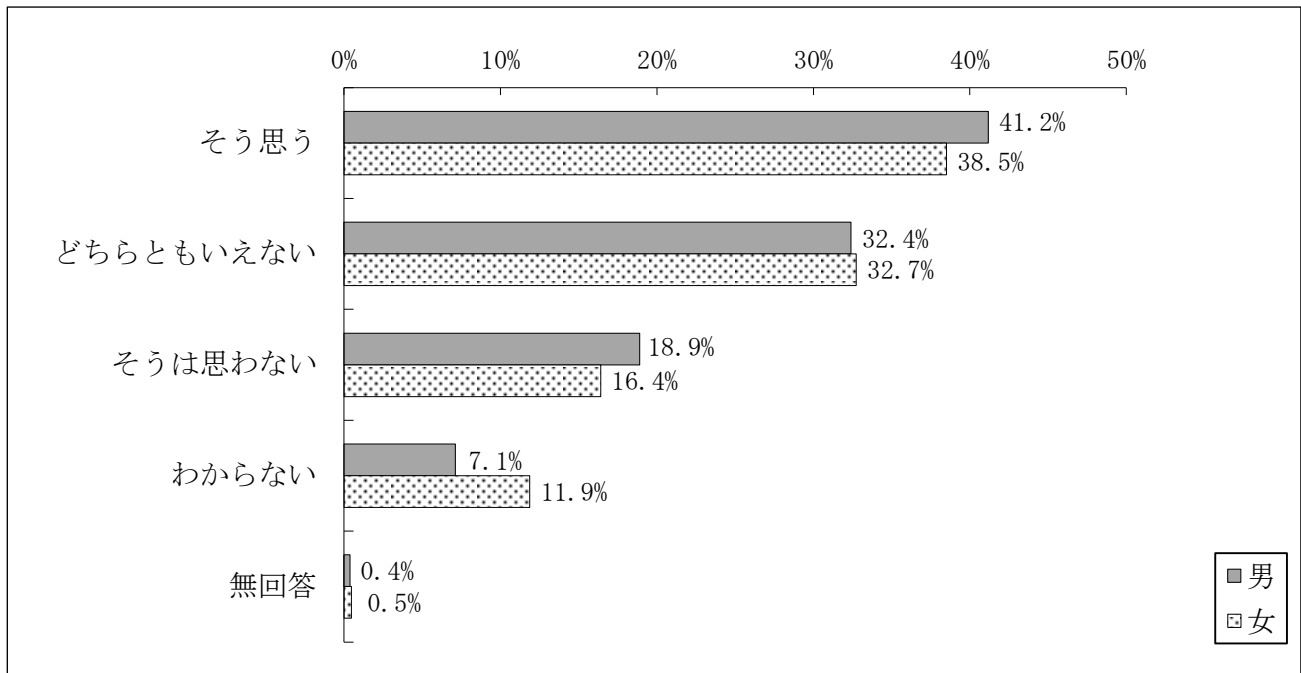
国民一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思われるか、という質問では、「そう思う」が39.5%で、「そうは思わない」17.5%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が32.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
そう思う	1,084	39.5%
どちらともいえない	894	32.5%
そうは思わない	482	17.5%
わからない	266	9.7%
無回答	21	0.8%



【性別】

性別で見ると、男性は「そう思う」が41.2%で、女性の38.5%を2.7ポイント上回っている。また、「そうは思わない」については、男性が18.9%、女性が16.4%となっており、こちらも男性が2.5ポイント上回っている。「どちらともいえない」については、男女間で大きな差は見られない。



【年齢別】

年齢別で見ると、20～40歳代では、「そう思う」が30%台にとどまり、50歳代以上は40%を超えている。

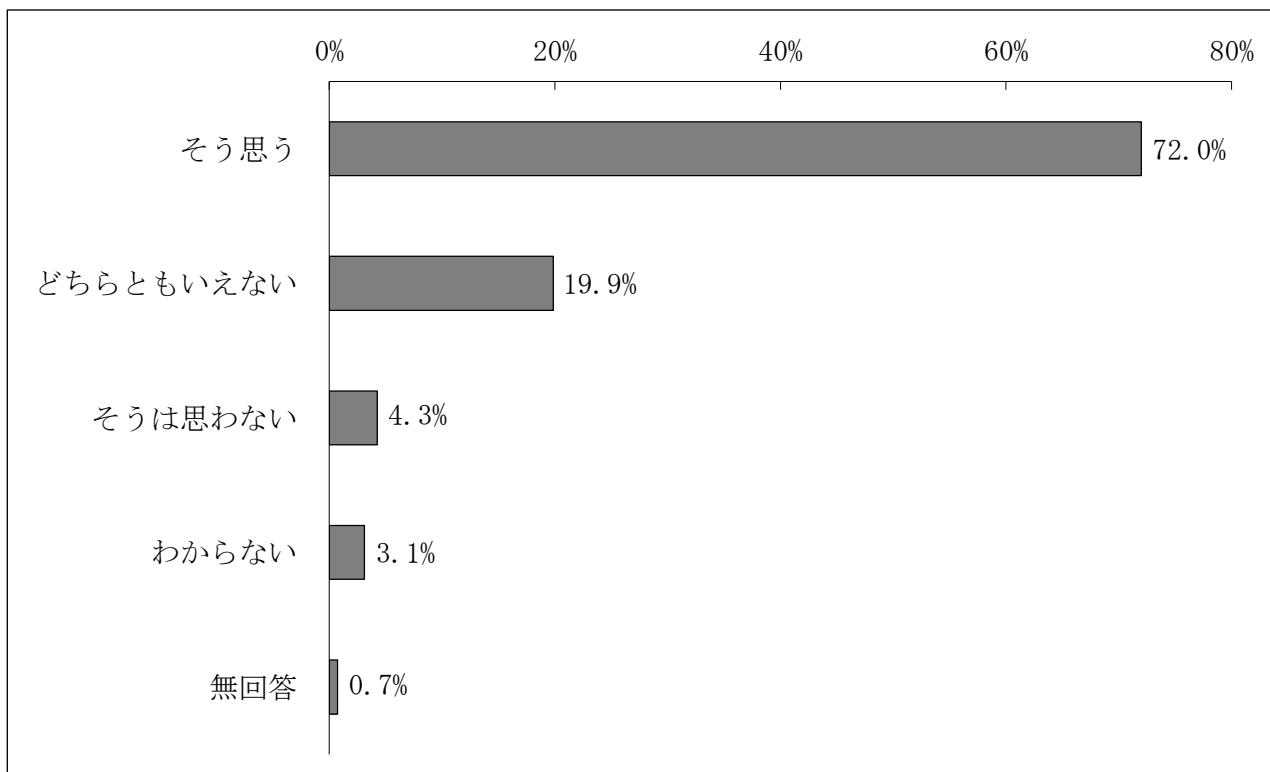
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
そう思う	34.0%	37.2%	38.7%	42.6%	40.4%	41.2%
どちらともいえない	25.6%	30.6%	32.8%	31.7%	35.3%	34.5%
そうは思わない	17.7%	18.4%	19.3%	17.8%	19.3%	13.4%
わからない	21.9%	13.8%	8.7%	7.6%	4.8%	10.1%
無回答	0.9%	0.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.7%

問5 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思われますか。次の中から1つお選びください。

【全体】

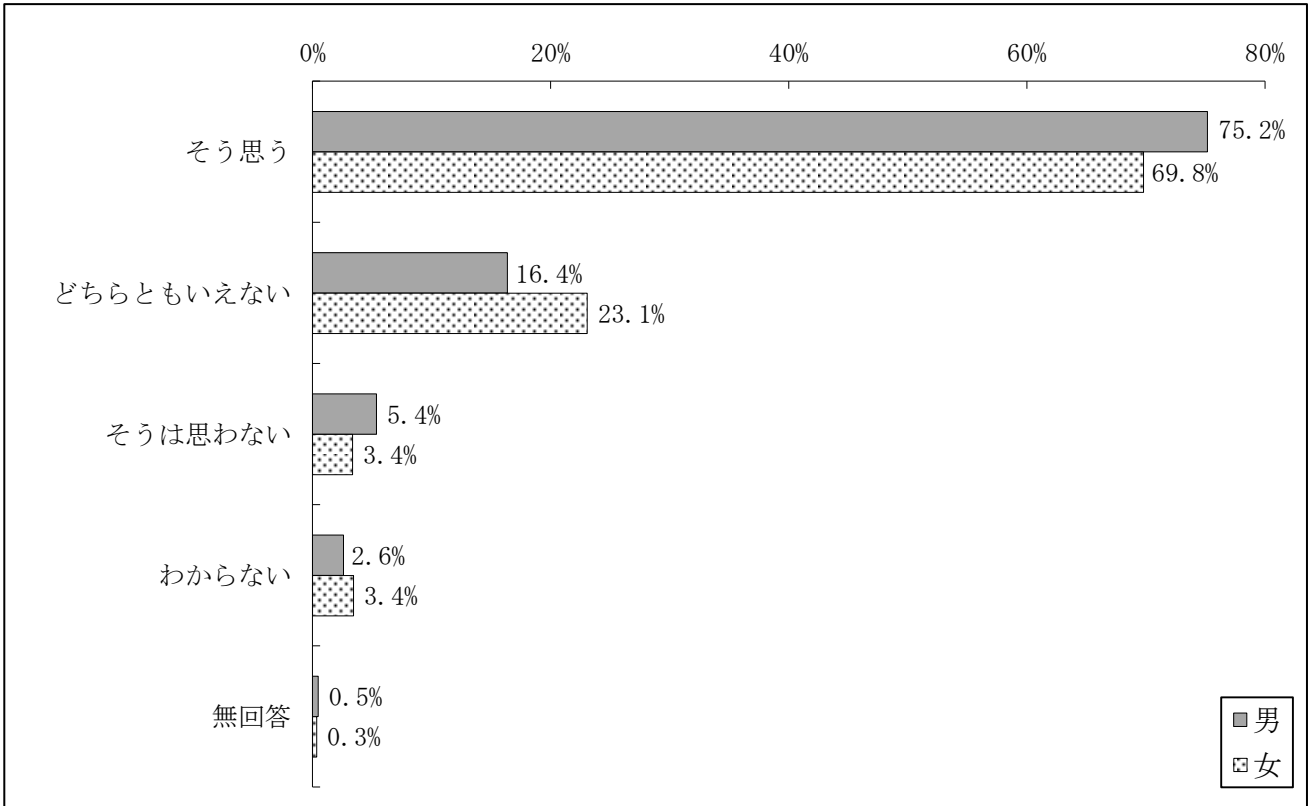
「そう思う」が72.0%で最も多く、「そうは思わない」4.3%を大きく上回っている。

選択項目	回答数	構成比
そう思う	1,978	72.0%
どちらともいえない	546	19.9%
そうは思わない	117	4.3%
わからない	86	3.1%
無回答	20	0.7%



【性別】

性別で見ると、「そう思う」は男性が75.2%で、女性の69.8%を5.4ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、「そう思う」は、20～30歳代で60%台、40歳以上で70%台となっている。特に50歳代は、77.1%と最も高くなっている。

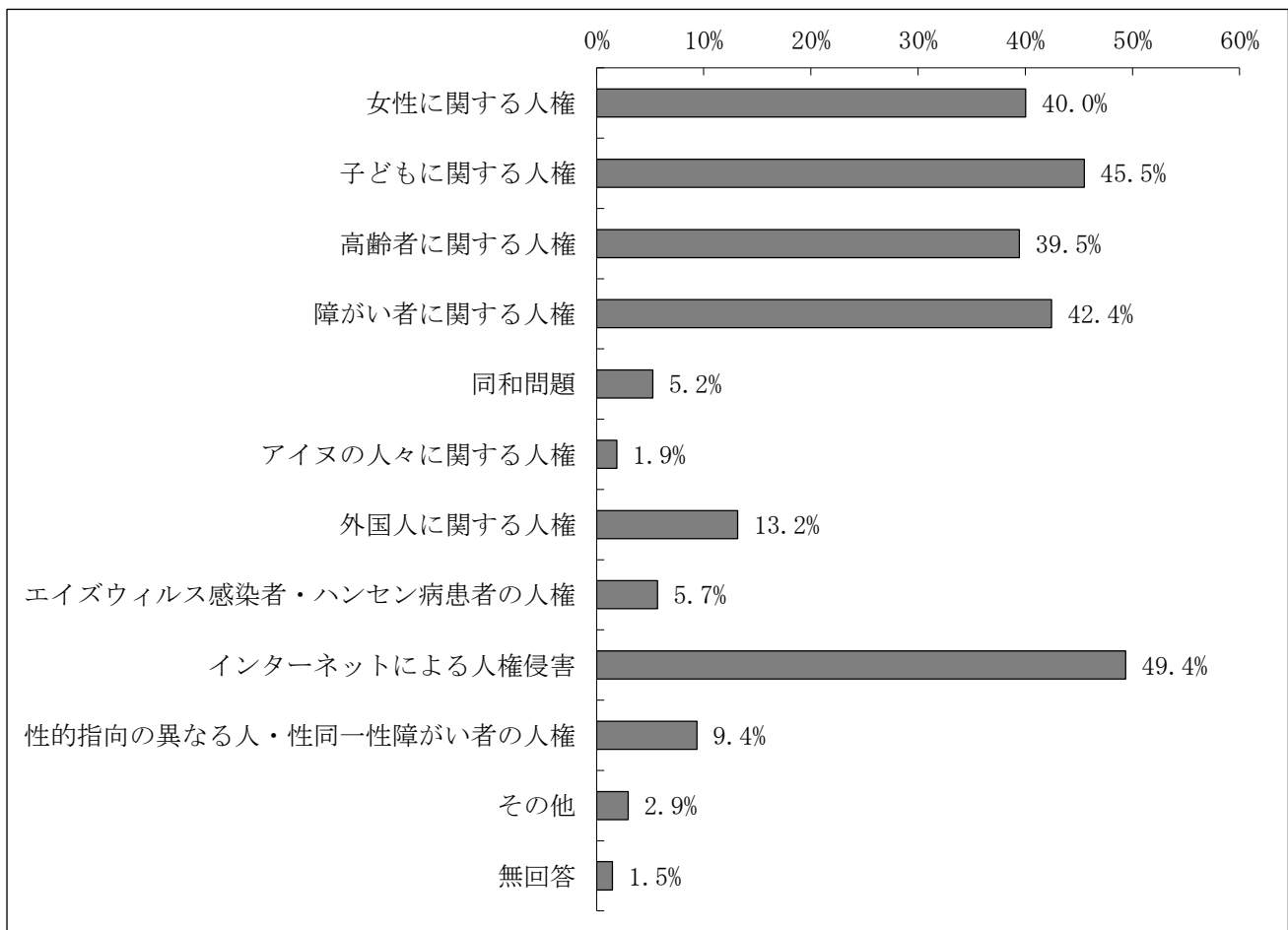
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
そう思う	60.5%	67.9%	75.2%	77.1%	75.2%	70.0%
どちらともいえない	24.7%	22.2%	19.6%	15.7%	19.8%	20.3%
そうは思わない	7.4%	5.4%	2.6%	4.2%	3.6%	4.9%
わからない	6.5%	3.8%	2.4%	3.0%	1.0%	4.5%
無回答	0.9%	0.8%	0.2%	0.0%	0.3%	0.4%

問6 日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものをあげてください。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

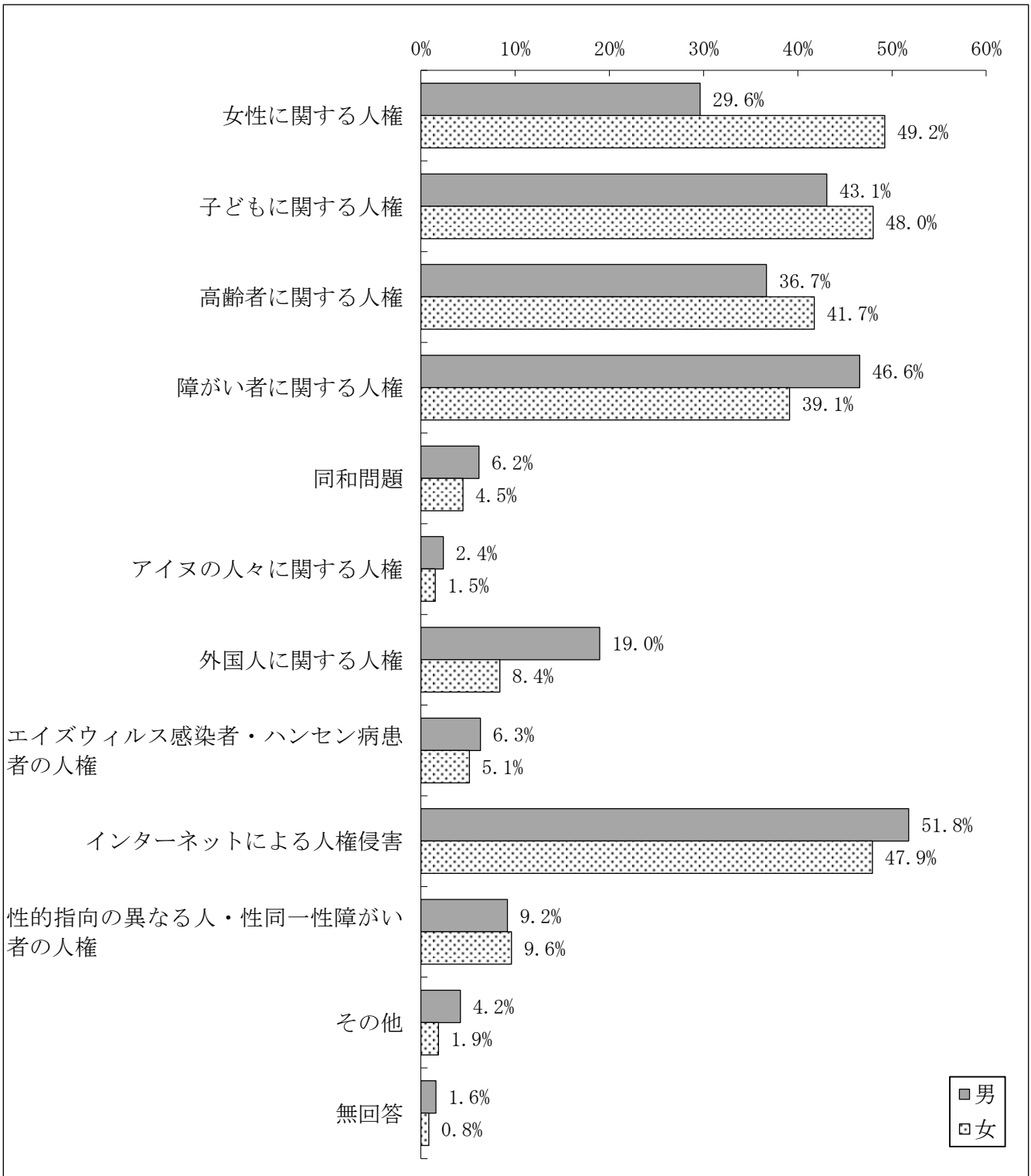
「インターネットによる人権侵害」が49.4%で最も高く、次いで「子どもに関する人権」が45.5%、「障がい者に関する人権」が42.4%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
女性に関する人権	1,100	40.0%
子どもに関する人権	1,250	45.5%
高齢者に関する人権	1,084	39.5%
障がい者に関する人権	1,166	42.4%
同和問題	144	5.2%
アイヌの人々に関する人権	52	1.9%
外国人に関する人権	362	13.2%
エイズウイルス感染者・ハンセン病患者の人権	156	5.7%
インターネットによる人権侵害	1,356	49.4%
性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権	257	9.4%
その他	81	2.9%
無回答	41	1.5%



【性別】

性別で見ると、「女性に関する人権」が男性の29.6%に対し女性が49.2%と19.6ポイント上回っている。一方、男性は女性よりも「障がい者に関する人権」（男性46.6%：女性39.1%）は7.5ポイント、「外国人に関する人権」（男性19.0%：女性8.4%）は、10.6ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、「高齢者に関する人権」が、70歳以上で64.4%と最も高くなっているが、若年層になるに従って低くなっている。「インターネットによる人権侵害」は、20歳代が59.1%と最も高く、30～50歳代でも50%台となっている。また、「女性に関する人権」は、20歳代が50.2%と最も高い割合となっている。

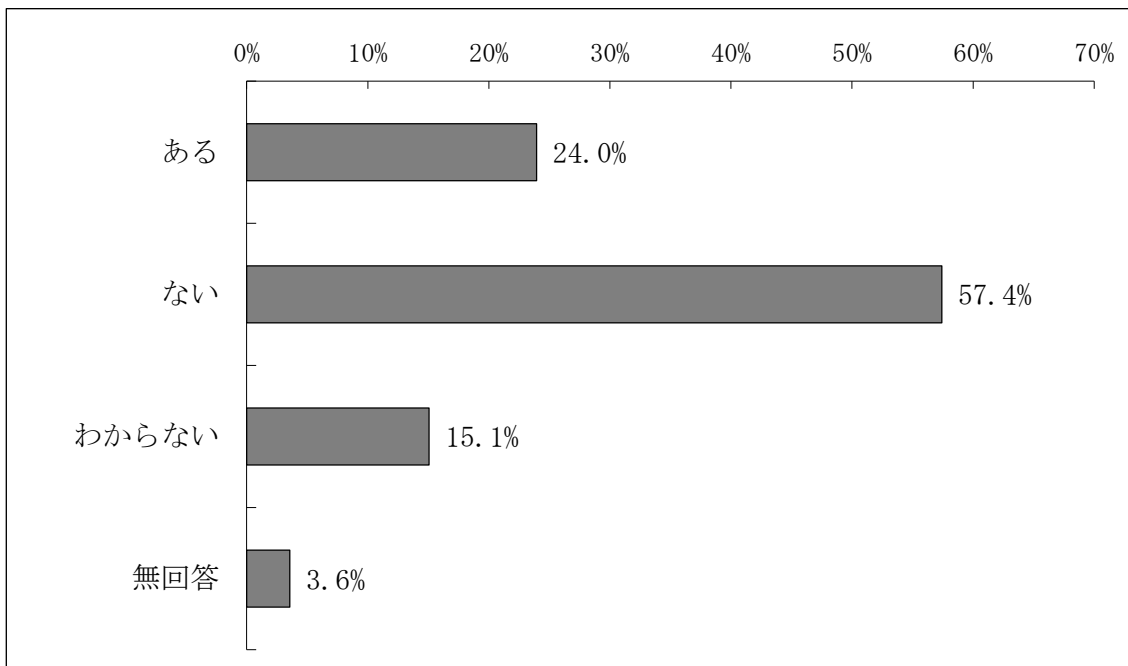
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
女性に関する人権	50.2%	47.7%	39.8%	38.7%	36.8%	36.0%
子どもに関する人権	38.6%	50.3%	45.7%	41.7%	46.0%	47.8%
高齢者に関する人権	15.8%	18.9%	27.4%	40.7%	50.6%	64.4%
障がい者に関する人権	35.3%	37.0%	38.5%	42.4%	50.1%	46.1%
同和問題	2.3%	4.6%	6.4%	5.6%	5.3%	5.2%
アイヌの人々に関する人権	1.4%	1.8%	1.6%	1.9%	2.6%	1.9%
外国人に関する人権	20.9%	16.6%	13.2%	15.5%	11.0%	8.4%
エイズウイルス感染者・ハンセン病患者の人権	2.3%	4.8%	6.8%	7.2%	5.7%	5.4%
インターネットによる人権侵害	59.1%	52.6%	56.9%	55.6%	44.2%	36.6%
性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権	22.3%	13.5%	9.4%	10.0%	6.9%	3.5%
その他	3.7%	4.1%	4.0%	2.8%	2.1%	1.7%
無回答	1.4%	2.0%	0.9%	0.5%	1.0%	1.3%

問7 あなたは、今までに、自己的人権が侵害されたと思われたことがありますか。次の中から1つお選びください。

【全体】

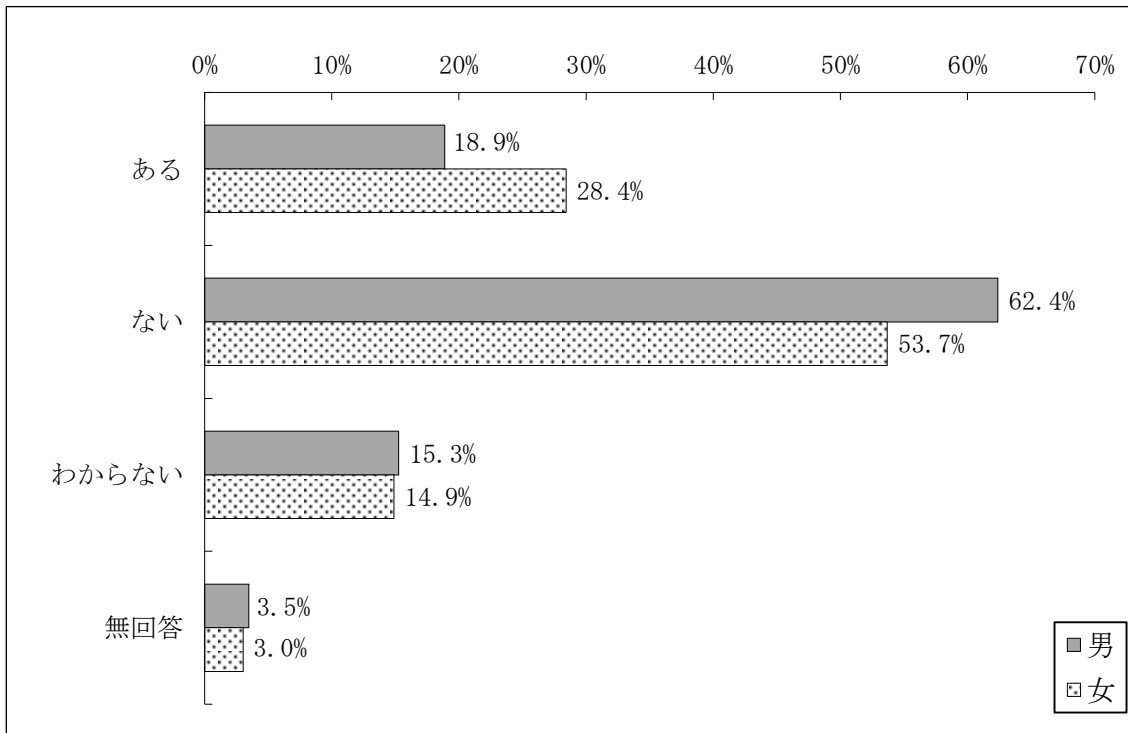
自己的人権が侵害されたと思われるか、という質問では、「ある」が24.0%、「ない」が57.4%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ある	658	24.0%
ない	1,577	57.4%
わからない	414	15.1%
無回答	98	3.6%



【性別】

性別で見ると、人権侵害を受けたことが「ある」は、男性18.9%に対し、女性28.4%と9.5ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると「ある」と答えたのは20歳代が29.8%と最も高く、30～60歳代では20%を超えているが、70歳代では、17.9%と最も低くなっている。

選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ある	29.8%	26.5%	25.9%	27.3%	21.3%	17.9%
ない	52.6%	54.8%	54.0%	57.6%	62.0%	60.8%
わからない	15.8%	16.6%	18.8%	12.7%	12.6%	14.6%
無回答	1.9%	2.0%	1.4%	2.3%	4.1%	6.7%

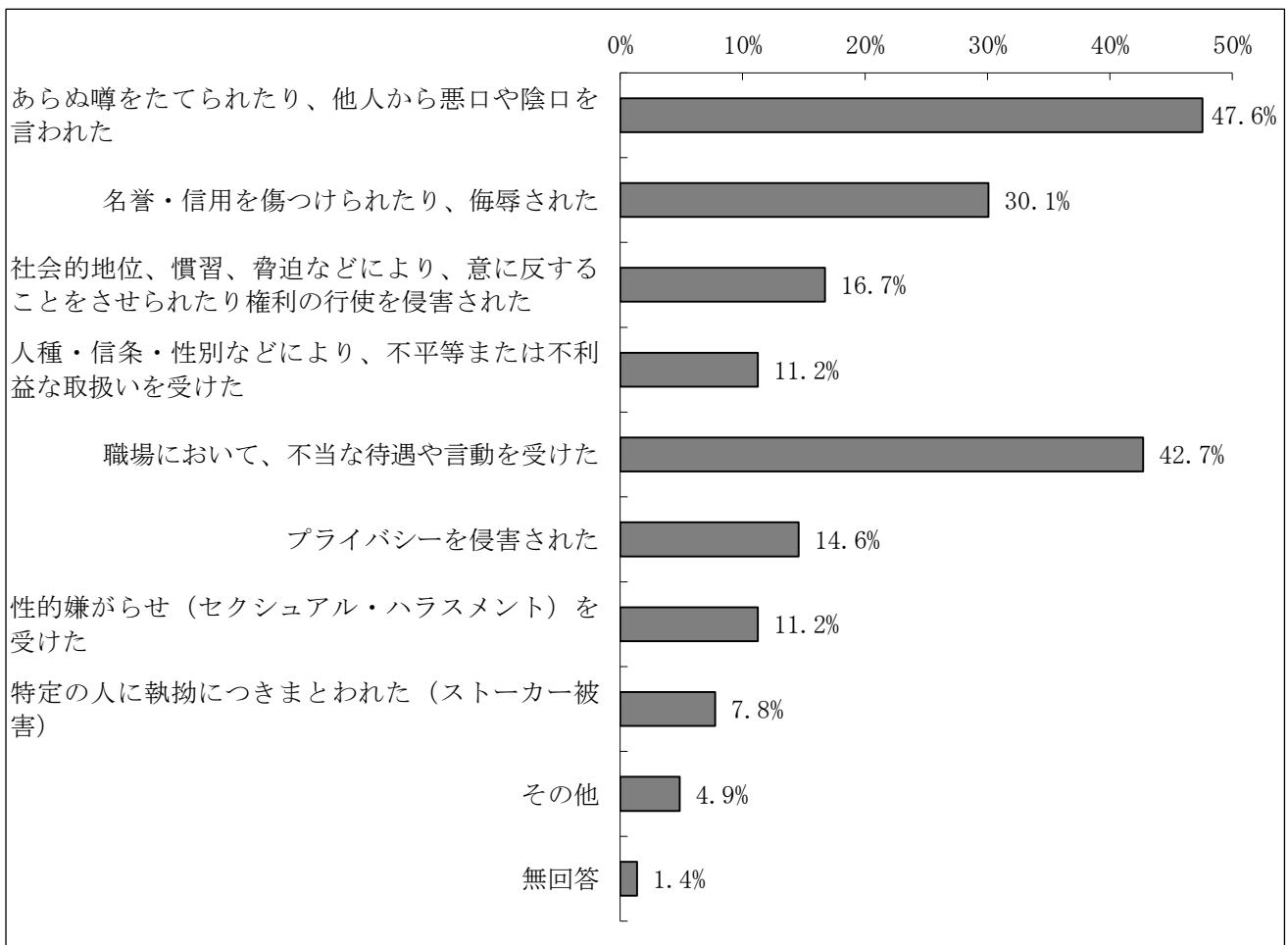
問8 (問7で「1 ある」と答えた方にお聞きします。)

どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

【全体】

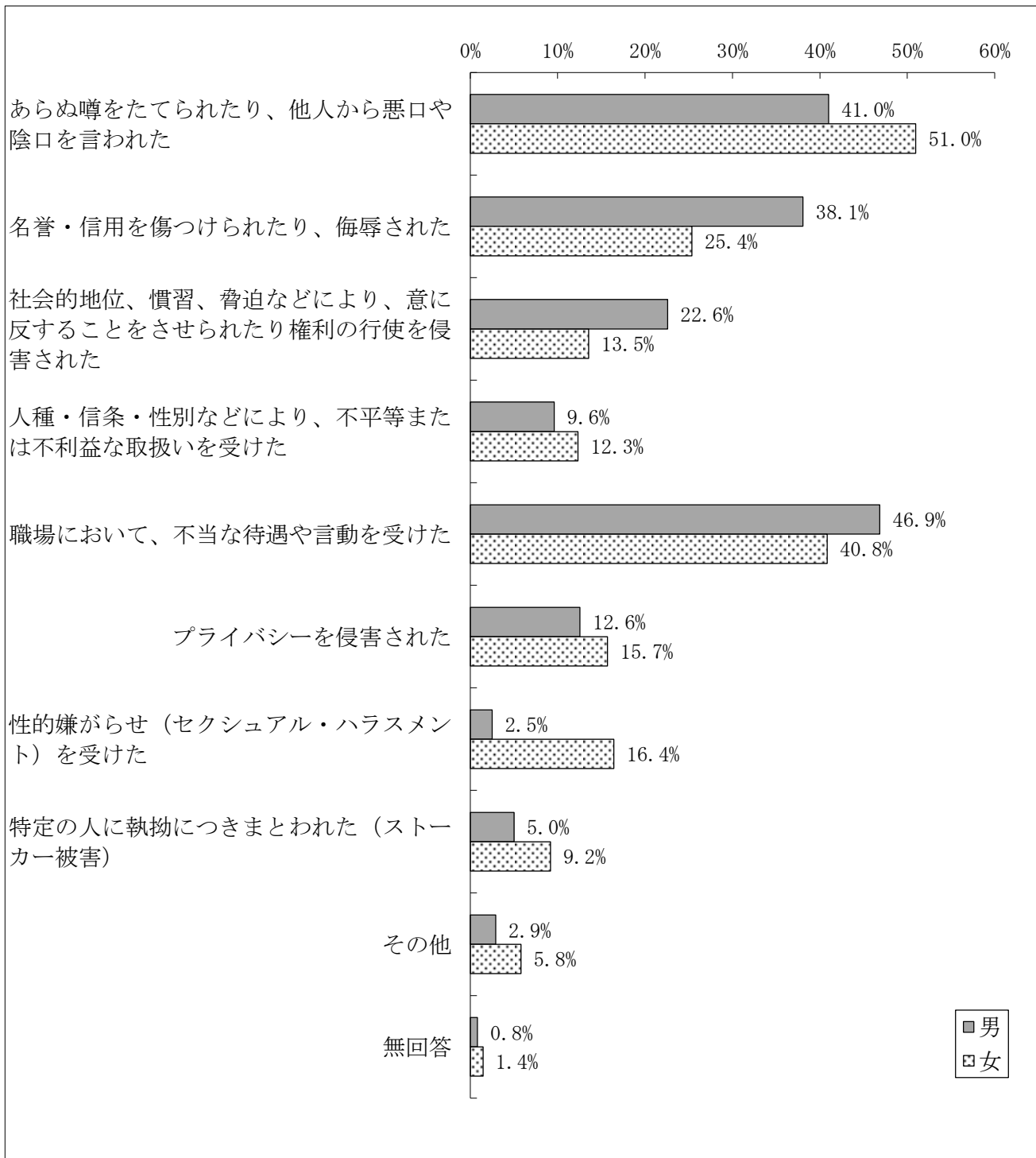
「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が47.6%で最も高く、次いで「職場において、不当な待遇や言動を受けた」が42.7%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が30.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	313	47.6%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	198	30.1%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	110	16.7%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	74	11.2%
職場において、不当な待遇や言動を受けた	281	42.7%
プライバシーを侵害された	96	14.6%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	74	11.2%
特定の人に執拗につきまといわれた（ストーカー被害）	51	7.8%
その他	32	4.9%
無回答	9	1.4%



【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「職場において、不当な待遇や言動を受けた」（男性46.9%：女性40.8%）は、6.1ポイント、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」（男性38.1%：女性25.4%）は、12.7ポイント上回り、女性は男性よりも「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」（男性41.0%：女性51.0%）が10ポイント、「性的嫌がらせ」（男性2.5%：女性16.4%）は、13.9ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、各年代において「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」の割合が高くなっている。「職場において、不当な待遇や言動を受けた」では、40歳代が57.7%、50歳代が53.4%と高い割合となっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	53.1%	44.2%	38.9%	47.5%	58.1%	47.9%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	25.0%	36.5%	27.5%	24.6%	31.5%	34.4%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	14.1%	23.1%	17.4%	19.5%	15.3%	9.4%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	12.5%	14.4%	10.7%	16.9%	6.5%	7.3%
職場において、不当な待遇や言動を受けた	48.4%	44.2%	57.7%	53.4%	28.2%	20.8%
プライバシーを侵害された	20.3%	17.3%	14.8%	13.6%	10.5%	14.6%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	15.6%	17.3%	14.1%	12.7%	5.6%	3.1%
特定の人に執拗につきまとわれた（ストーリー被害）	9.4%	15.4%	8.7%	6.8%	4.8%	2.1%
その他	6.3%	4.8%	6.0%	2.5%	3.2%	7.3%
無回答	0.0%	1.0%	0.7%	0.8%	2.4%	2.1%

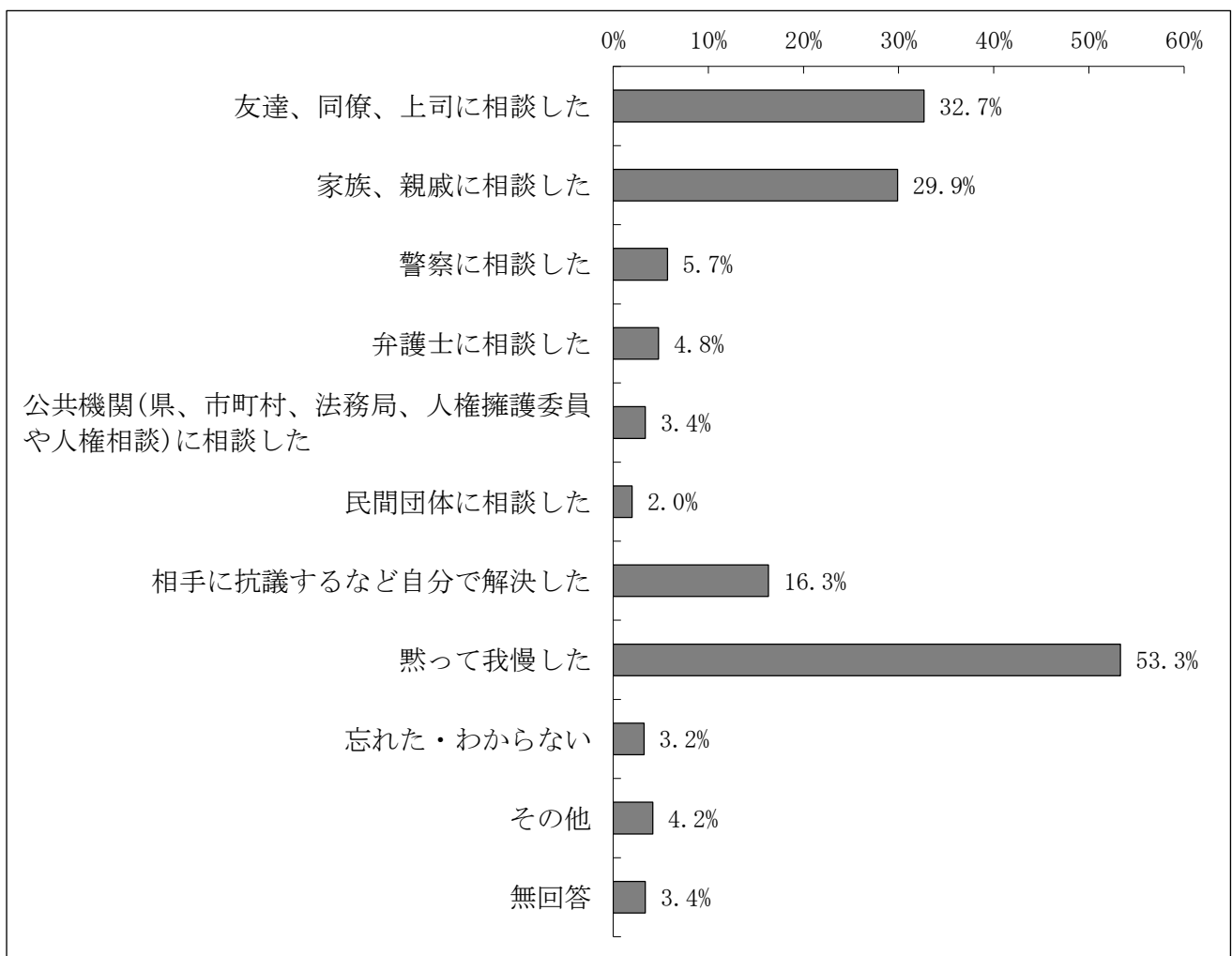
問9 (問8で答えた方にお聞きします。)

その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

【全体】

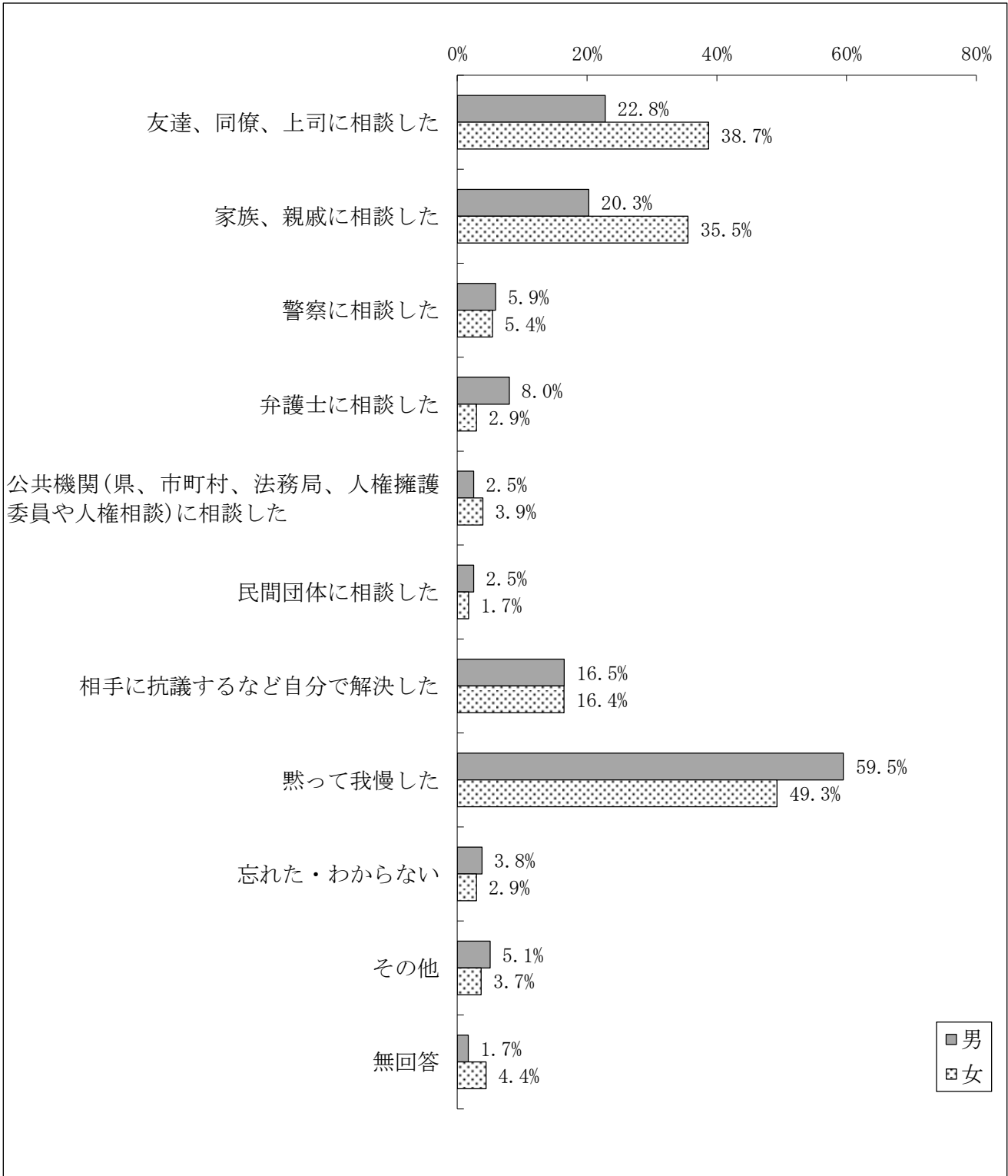
人権が侵害された時の対応は、「黙って我慢した」が53.3%で最も高く、次いで「友達、同僚、上司に相談した」が32.7%、「家族、親戚に相談した」が29.9%となっている。

選択項目	回答数	構成比
友達、同僚、上司に相談した	212	32.7%
家族、親戚に相談した	194	29.9%
警察に相談した	37	5.7%
弁護士に相談した	31	4.8%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	22	3.4%
民間団体に相談した	13	2.0%
相手に抗議するなど自分で解決した	106	16.3%
黙って我慢した	346	53.3%
忘れた・わからない	21	3.2%
その他	27	4.2%
無回答	22	3.4%



【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「友達、同僚、上司に相談した」（男性22.8%：女性38.7%）は、15.9ポイント、「家族、親戚に相談した」（男性20.3%：女性35.5%）は、15.2ポイント上回り、「黙って我慢した」（男性59.5%：女性49.3%）は男性が10.2ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、各年代において「黙って我慢した」の割合が最も高い。「家族、親戚に相談した」の中では、20歳代で48.4%と最も高くなっている。

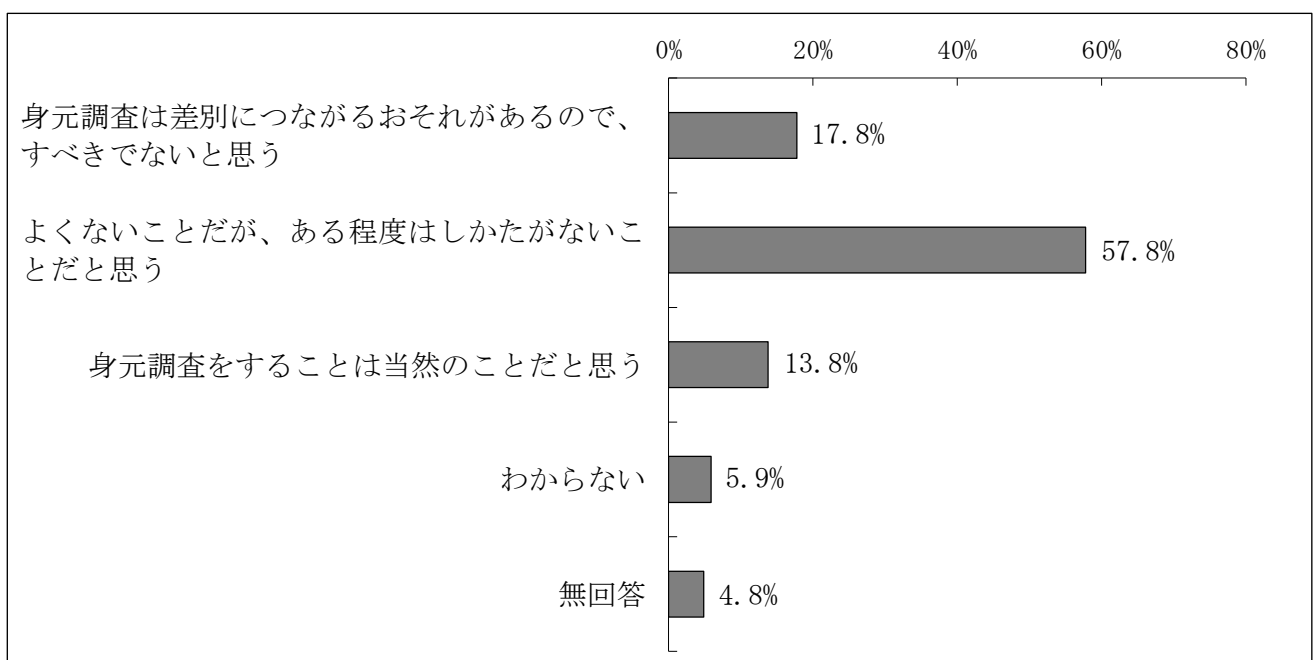
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
友達、同僚、上司に相談した	34.4%	37.9%	34.5%	36.8%	31.4%	20.2%
家族、親戚に相談した	48.4%	35.9%	31.1%	24.8%	28.9%	17.0%
警察に相談した	9.4%	8.7%	3.4%	6.0%	7.4%	1.1%
弁護士に相談した	6.3%	5.8%	3.4%	6.0%	3.3%	5.3%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	1.6%	2.9%	2.0%	6.0%	4.1%	3.2%
民間団体に相談した	4.7%	3.9%	0.0%	0.9%	3.3%	1.1%
相手に抗議するなど自分で解決した	9.4%	18.4%	18.2%	14.5%	21.5%	10.6%
黙って我慢した	53.1%	54.4%	51.4%	56.4%	47.9%	57.4%
忘れた・わからない	6.3%	1.9%	4.7%	2.6%	2.5%	2.1%
その他	1.6%	1.9%	4.1%	6.8%	4.1%	5.3%
無回答	1.6%	4.9%	4.1%	2.6%	3.3%	3.2%

問10 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

【全体】

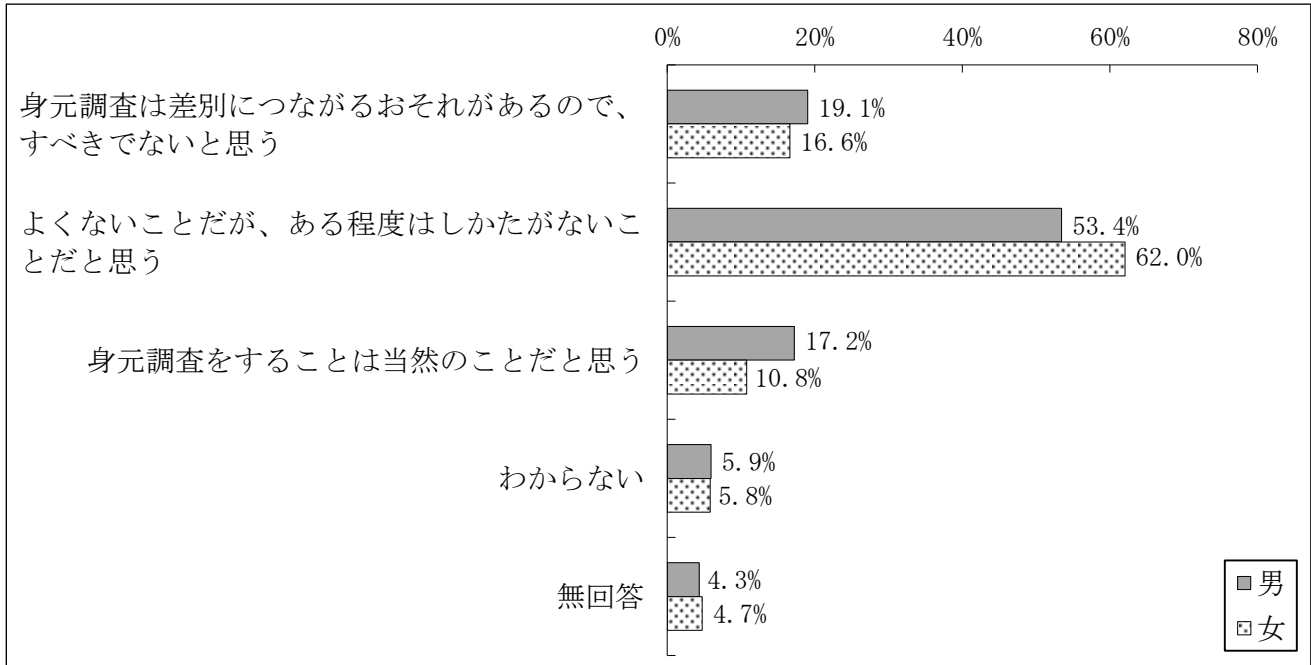
あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのように考えるか、という質問では、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が57.8%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が17.8%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	488	17.8%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	1,587	57.8%
身元調査をすることは当然のことだと思う	378	13.8%
わからない	161	5.9%
無回答	133	4.8%



【性別】

性別で見ると、女性は「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が62.0%で、男性の53.4%を8.6ポイント上回っている。「身元調査をすることは当然のことだと思う」については、男性が17.2%で、女性の10.8%を6.4ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が半数以上を占め、最も高い。20～60歳代では、2番目に高いのが「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」となっているが、70歳以上では、「身元調査をすることは当然のことだと思う」が2番目に高い。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	14.9%	16.3%	20.3%	19.2%	20.8%	13.1%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	62.8%	61.2%	57.5%	57.9%	57.1%	54.9%
身元調査をすることは当然のことだと思う	14.0%	13.0%	12.7%	13.2%	11.9%	18.1%
わからない	5.1%	5.4%	7.3%	5.8%	4.3%	6.9%
無回答	3.3%	4.1%	2.3%	3.9%	5.9%	7.1%

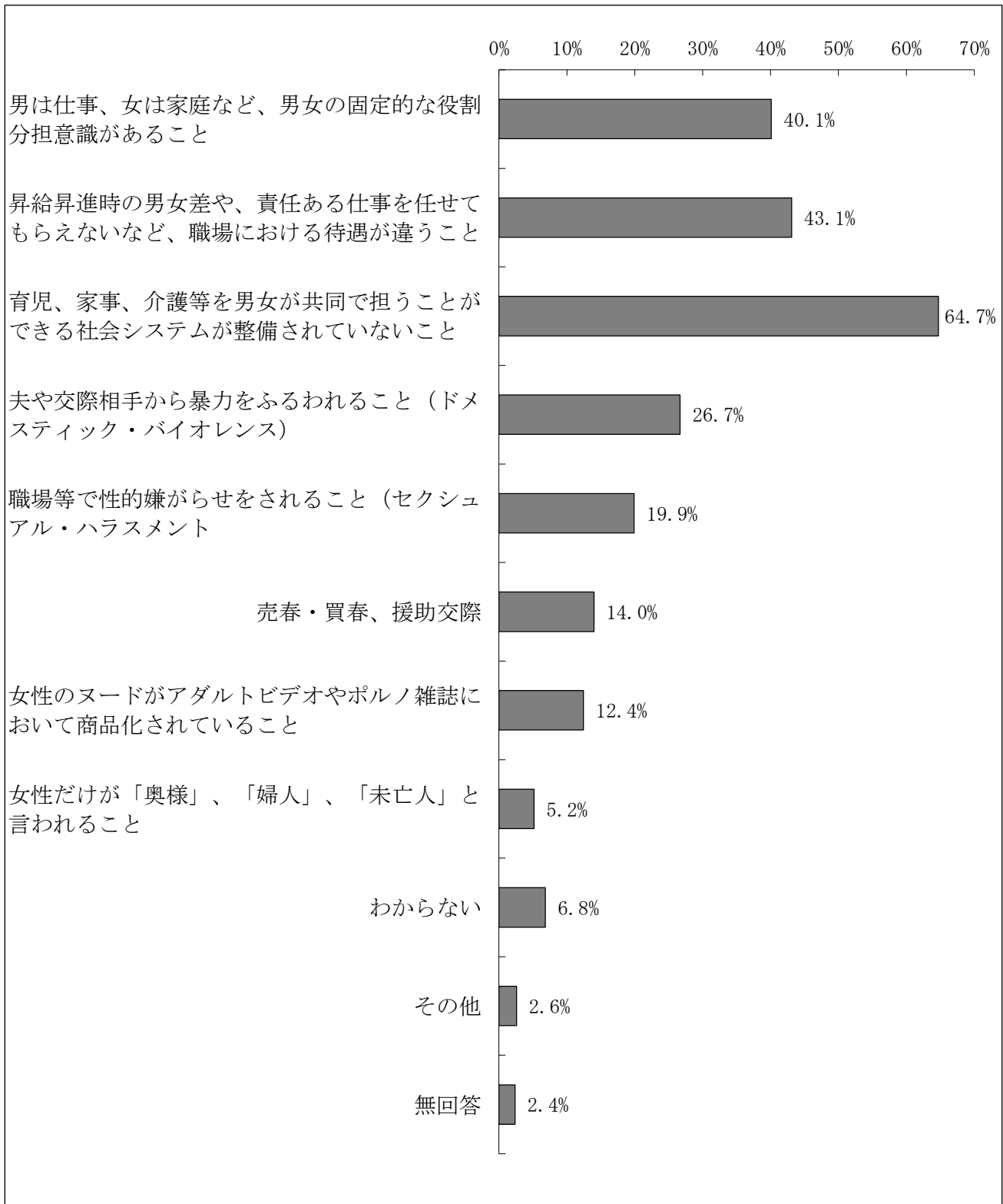
2 女性に関する人権について

問11 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

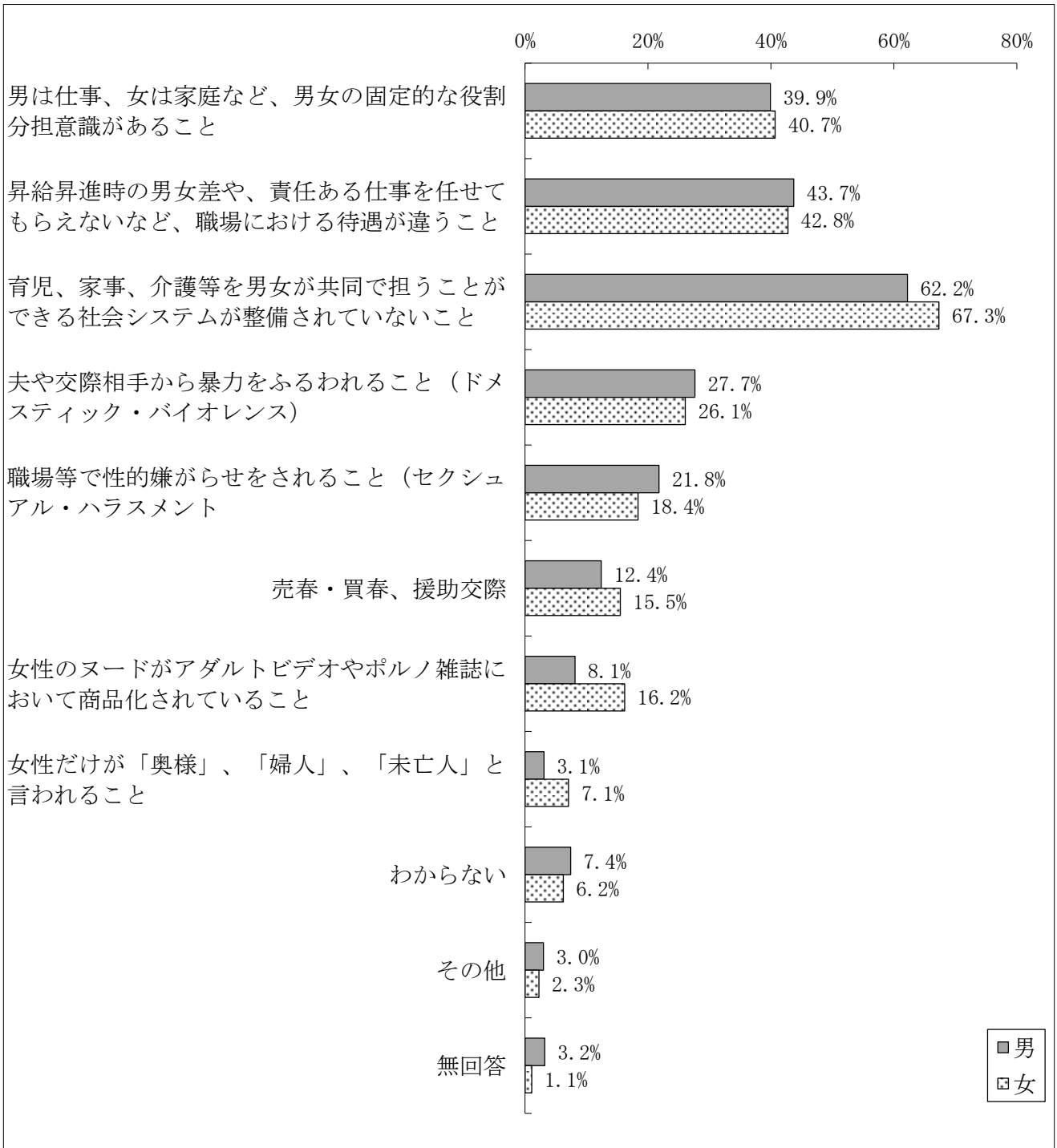
女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が64.7%で最も高く、次いで「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと」が43.1%、「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること」が40.1%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	1,102	40.1%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと	1,184	43.1%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	1,778	64.7%
夫や交際相手から暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）	733	26.7%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	547	19.9%
売春・買春、援助交際	384	14.0%
女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること	342	12.4%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	142	5.2%
わからない	188	6.8%
その他	71	2.6%
無回答	65	2.4%



【性別】

男女ともに、「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」の回答が最も多い。男女間で選択率の差が大きいものとしては、「女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること」（男性8.1%：女性16.2%）、「女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること」（男性3.1%：女性7.1%）が挙げられる。



【年齢別】

各年代において、「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」の回答が最も多い。「職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）」の項目については、若い年代の方が比較的選択率が高い。

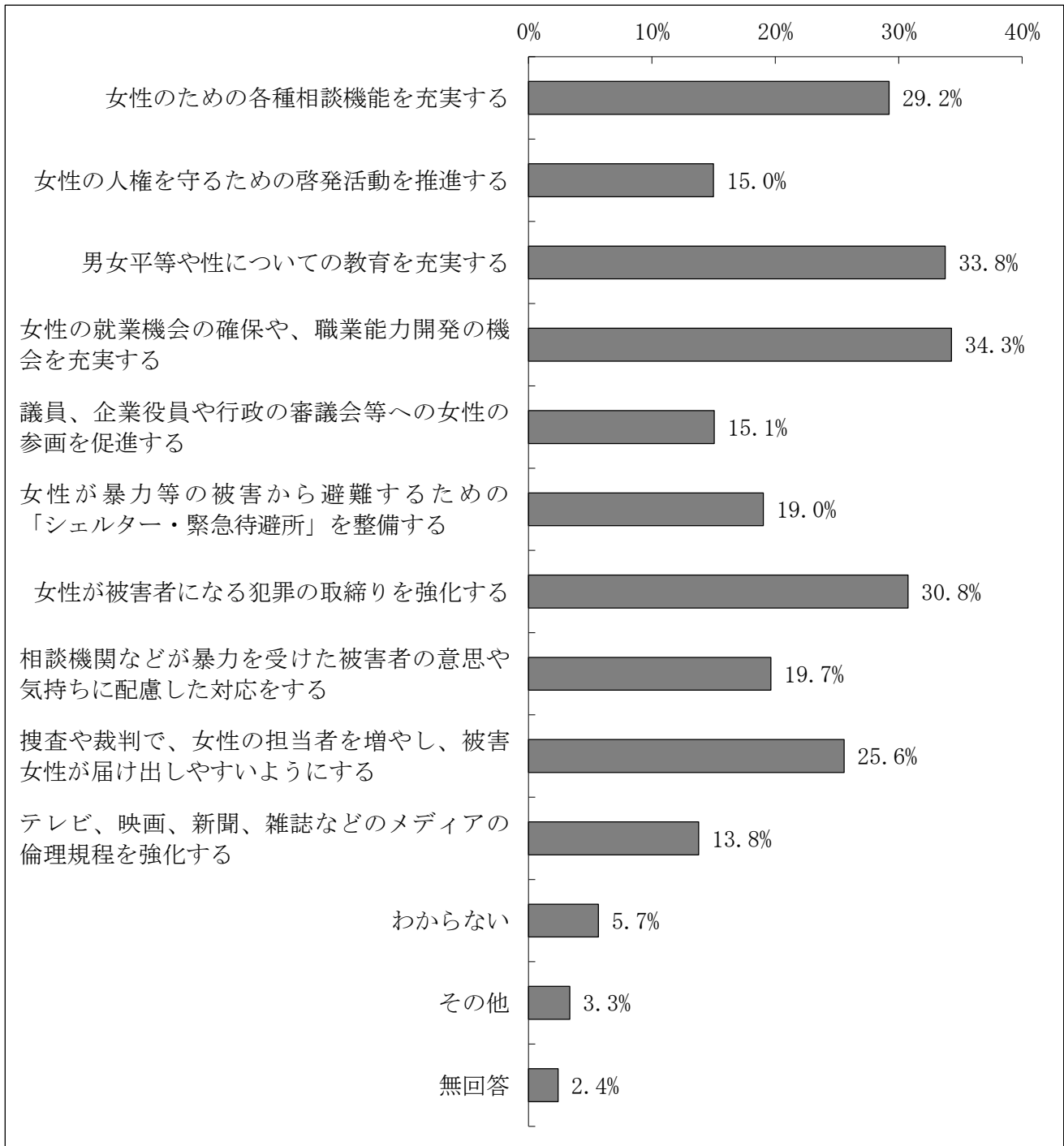
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	38.6%	38.5%	38.4%	42.6%	40.3%	42.4%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと	49.8%	42.1%	40.1%	47.0%	45.1%	39.7%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	70.2%	68.1%	64.4%	68.5%	64.0%	59.1%
夫や交際相手から暴力をふるわれること (ドメスティック・バイオレンス)	22.3%	29.3%	30.9%	31.9%	25.5%	19.0%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	30.7%	21.7%	22.9%	20.8%	18.8%	11.9%
売春・買春、援助交際	9.8%	9.9%	12.5%	16.0%	16.5%	16.0%
女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること	7.9%	7.7%	7.5%	10.2%	16.9%	20.5%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	1.9%	4.1%	3.3%	5.1%	6.2%	8.4%
わからない	2.8%	6.9%	5.9%	4.9%	7.6%	10.4%
その他	3.7%	4.8%	3.5%	2.5%	1.0%	1.3%
無回答	0.5%	1.3%	0.5%	1.2%	2.8%	5.0%

問12 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

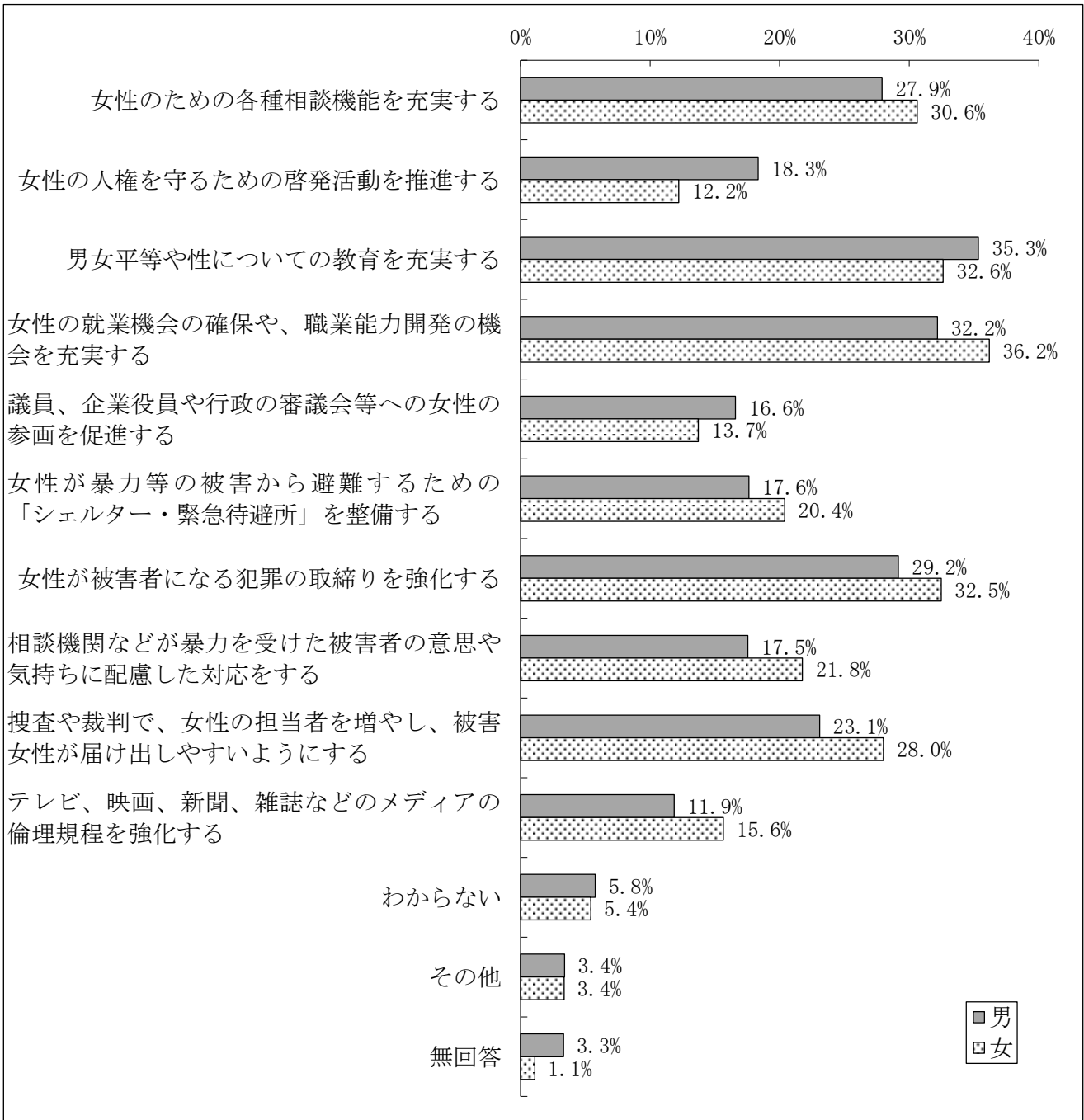
女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」が34.3%で最も高く、次いで「男女平等や性についての教育を充実する」が33.8%、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が30.8%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
女性のための各種相談機能を充実する	803	29.2%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	412	15.0%
男女平等や性についての教育を充実する	928	33.8%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する	942	34.3%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	414	15.1%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	523	19.0%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	845	30.8%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	540	19.7%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	703	25.6%
テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する	379	13.8%
わからない	156	5.7%
その他	92	3.3%
無回答	66	2.4%



【性別】

男性は女性よりも「女性の人権を守るための啓発活動を推進する」（男性18.3%：女性12.2%）が6.1ポイント上回っている。一方、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」（男性32.2%：女性36.2%）、「相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする」（男性17.5%：女性21.8%）、「捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする」（男性23.1%：女性28.0%）では、女性が男性よりも4ポイントから4.9ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代とも「女性のための各種相談機能を充実する」、「男女平等や性についての教育を充実する」、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」の選択率が20%を上回っている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
女性のための各種相談機能を充実する	29.8%	24.5%	26.0%	28.2%	31.0%	35.3%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	9.3%	10.7%	10.9%	15.0%	19.8%	19.6%
男女平等や性についての教育を充実する	34.9%	32.7%	32.3%	37.5%	37.5%	29.1%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する	38.1%	40.6%	31.3%	33.8%	32.9%	33.8%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	15.3%	14.0%	13.9%	13.9%	16.0%	17.0%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	14.4%	21.2%	20.0%	22.0%	20.8%	14.4%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	23.7%	28.8%	33.9%	26.2%	32.2%	34.1%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	16.7%	16.1%	19.3%	24.5%	20.7%	19.4%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	28.4%	25.5%	26.0%	26.6%	26.3%	22.6%
テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する	7.0%	10.7%	12.8%	16.2%	18.6%	12.9%
わからない	5.6%	5.9%	7.3%	3.7%	3.3%	8.2%
その他	7.9%	6.1%	4.2%	2.8%	1.0%	1.7%
無回答	0.9%	1.8%	0.9%	1.4%	2.6%	4.3%

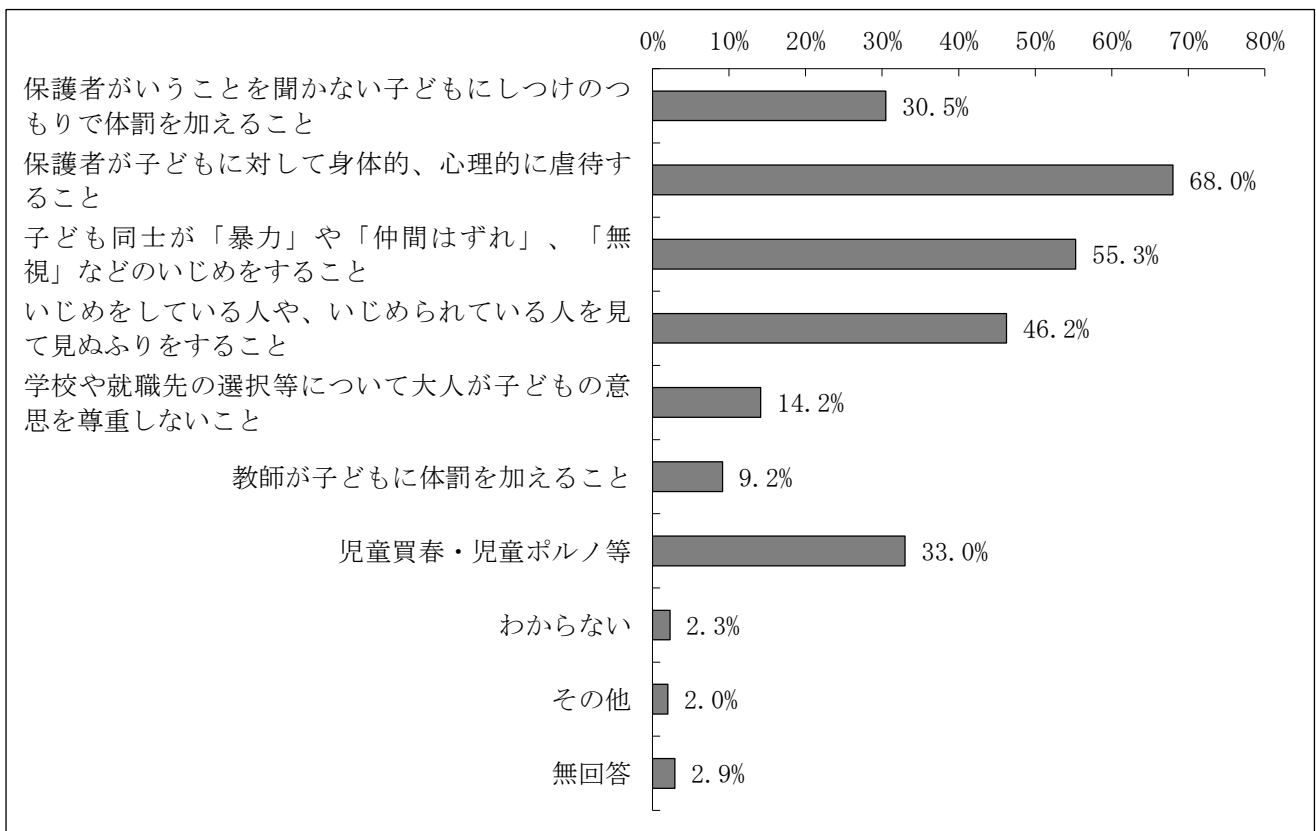
3 子どもに関する人権について

問13 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

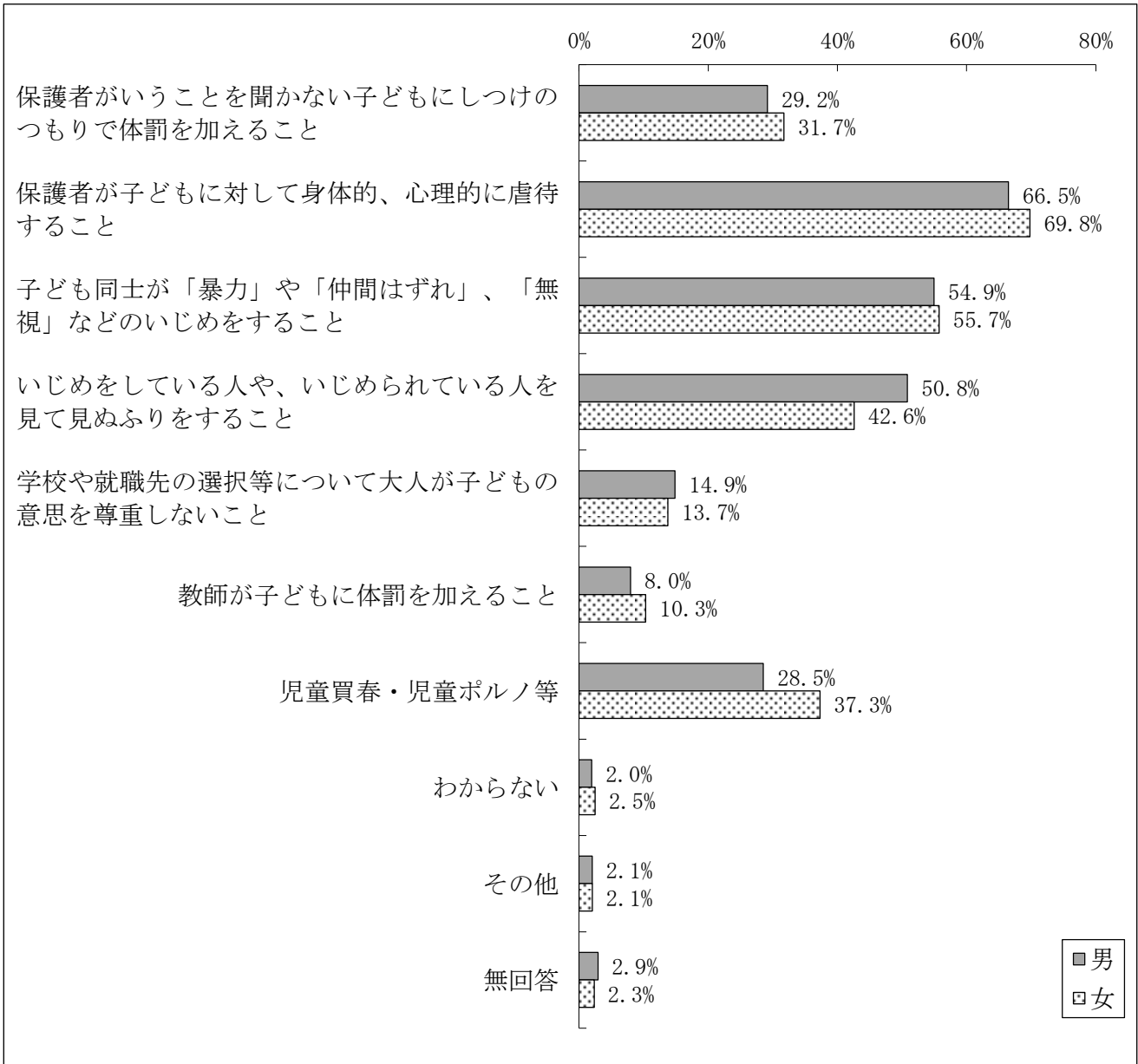
子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が68.0%で最も高く、次いで「子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること」が55.3%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が46.2%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
保護者がいうことを聞かない子どもにしつけのつもりで体罰を加えること	837	30.5%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	1,868	68.0%
子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	1,519	55.3%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	1,270	46.2%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	389	14.2%
教師が子どもに体罰を加えること	252	9.2%
児童買春・児童ポルノ等	906	33.0%
わからない	63	2.3%
その他	56	2.0%
無回答	81	2.9%



【性別】

男女間で回答に差があるものとしては、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」（男性50.8%：女性42.6%）、「児童買春・児童ポルノ等」（男性28.5%：女性37.3%）が挙げられる。



【年齢別】

各年代において、「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」の回答が最も多く50%を上回っている。

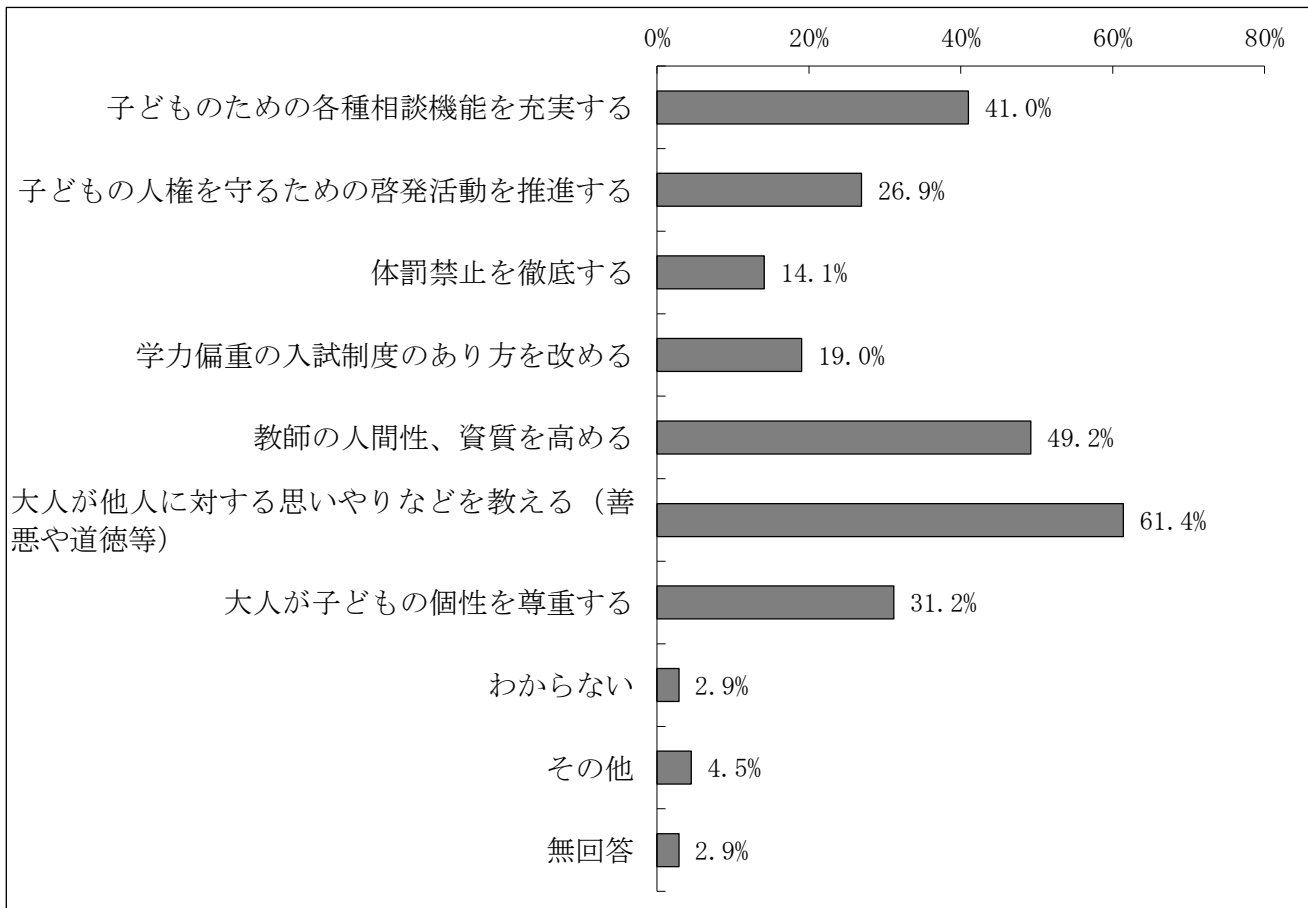
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
保護者がいうことを聞かない子どもにしつけのつもりで体罰を加えること	26.5%	30.1%	25.2%	29.9%	34.6%	34.5%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	74.9%	69.6%	69.8%	73.6%	67.8%	58.8%
子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	48.8%	55.6%	54.0%	58.6%	58.2%	53.9%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること	35.3%	38.0%	45.1%	48.8%	52.5%	49.4%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	26.5%	17.3%	14.1%	11.3%	12.2%	11.4%
教師が子どもに体罰を加えること	10.7%	9.2%	7.8%	5.8%	7.9%	14.4%
児童買春・児童ポルノ等	29.8%	37.8%	37.8%	33.1%	32.0%	27.2%
わからない	0.5%	1.5%	2.8%	1.9%	1.9%	3.9%
その他	3.3%	3.8%	3.0%	1.9%	0.9%	0.7%
無回答	0.9%	0.5%	0.7%	2.3%	3.4%	6.5%

問14 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

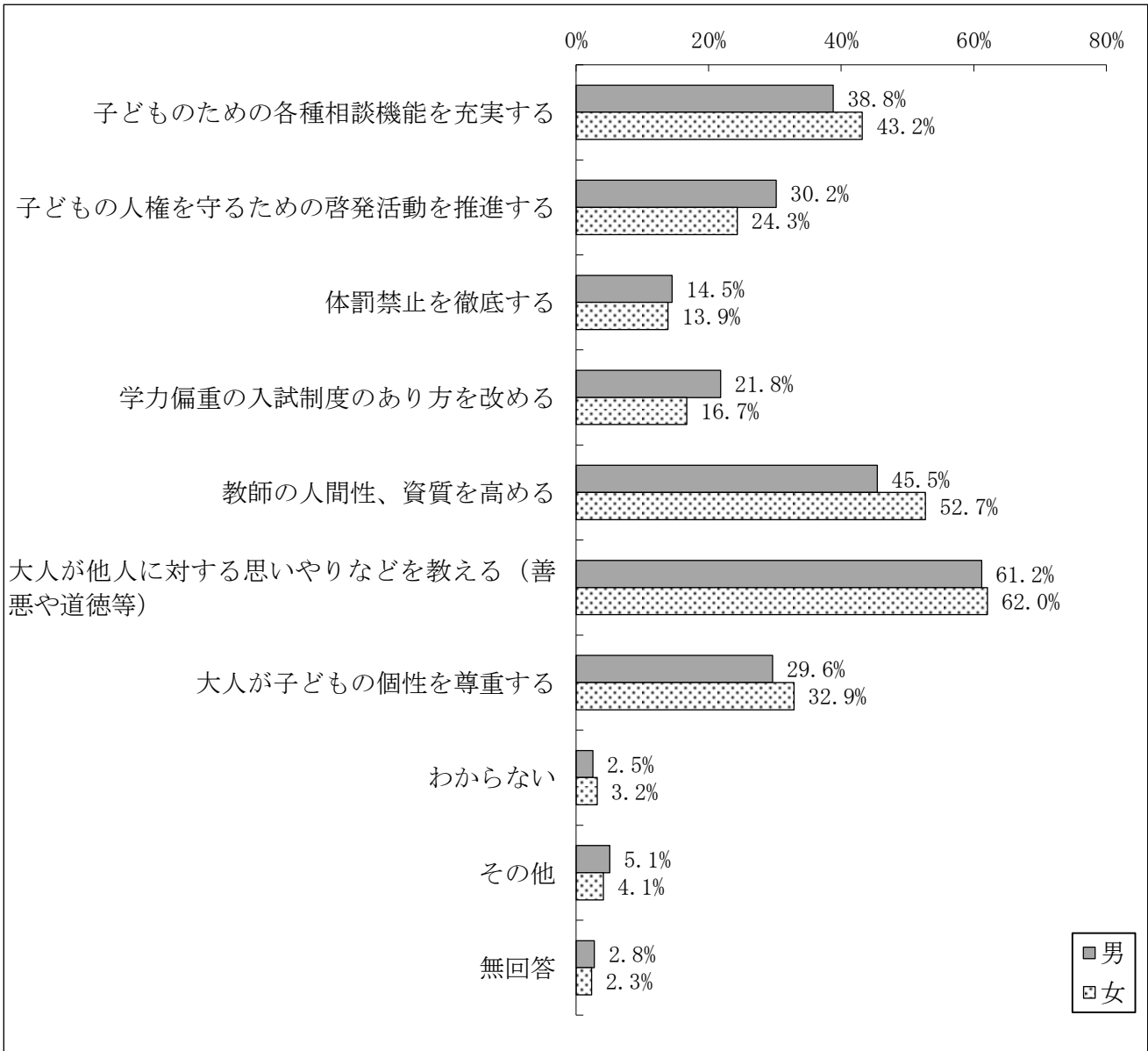
子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」が61.4%で最も高く、次いで「教師の人間性、資質を高める」が49.2%、「子どものための各種相談機能を充実する」が41.0%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
子どものための各種相談機能を充実する	1,126	41.0%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	740	26.9%
体罰禁止を徹底する	388	14.1%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	523	19.0%
教師の人間性、資質を高める	1,352	49.2%
大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）	1,687	61.4%
大人が子どもの個性を尊重する	856	31.2%
わからない	79	2.9%
その他	124	4.5%
無回答	79	2.9%



【性別】

男性は女性よりも「子どもの人権を守るための啓発活動を推進する」（男性30.2%：女性24.3%）が5.9ポイント、「学力偏重の入試制度のあり方を改める」（男性21.8%：女性16.7%）が5.1ポイント高くなっている。逆に、女性は男性よりも「教師の人間性、資質を高める」（男性45.5%：女性52.7%）が7.2ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」の回答が最も多く50%を上回っている。「大人が子どもの個性を尊重する」の項目については、若い年代の方が比較的選択率が高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
子どものための各種相談機能を充実する	40.9%	40.8%	38.7%	43.8%	40.6%	42.4%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	18.6%	21.4%	24.3%	33.1%	31.7%	27.4%
体罰禁止を徹底する	11.2%	10.7%	8.7%	10.6%	18.8%	21.8%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	14.4%	13.5%	16.3%	21.3%	23.1%	22.0%
教師の人間性、資質を高める	43.7%	43.4%	51.0%	48.6%	54.6%	49.1%
大人が他人に対する思いやりなどを教える （善悪や道德等）	58.1%	62.2%	62.0%	58.3%	65.2%	60.4%
大人が子どもの個性を尊重する	40.5%	37.5%	29.5%	31.7%	28.9%	27.1%
わからない	3.3%	3.1%	4.0%	3.0%	1.4%	3.0%
その他	8.8%	8.7%	6.4%	3.2%	1.4%	2.2%
無回答	0.5%	0.8%	1.2%	2.1%	3.3%	6.0%

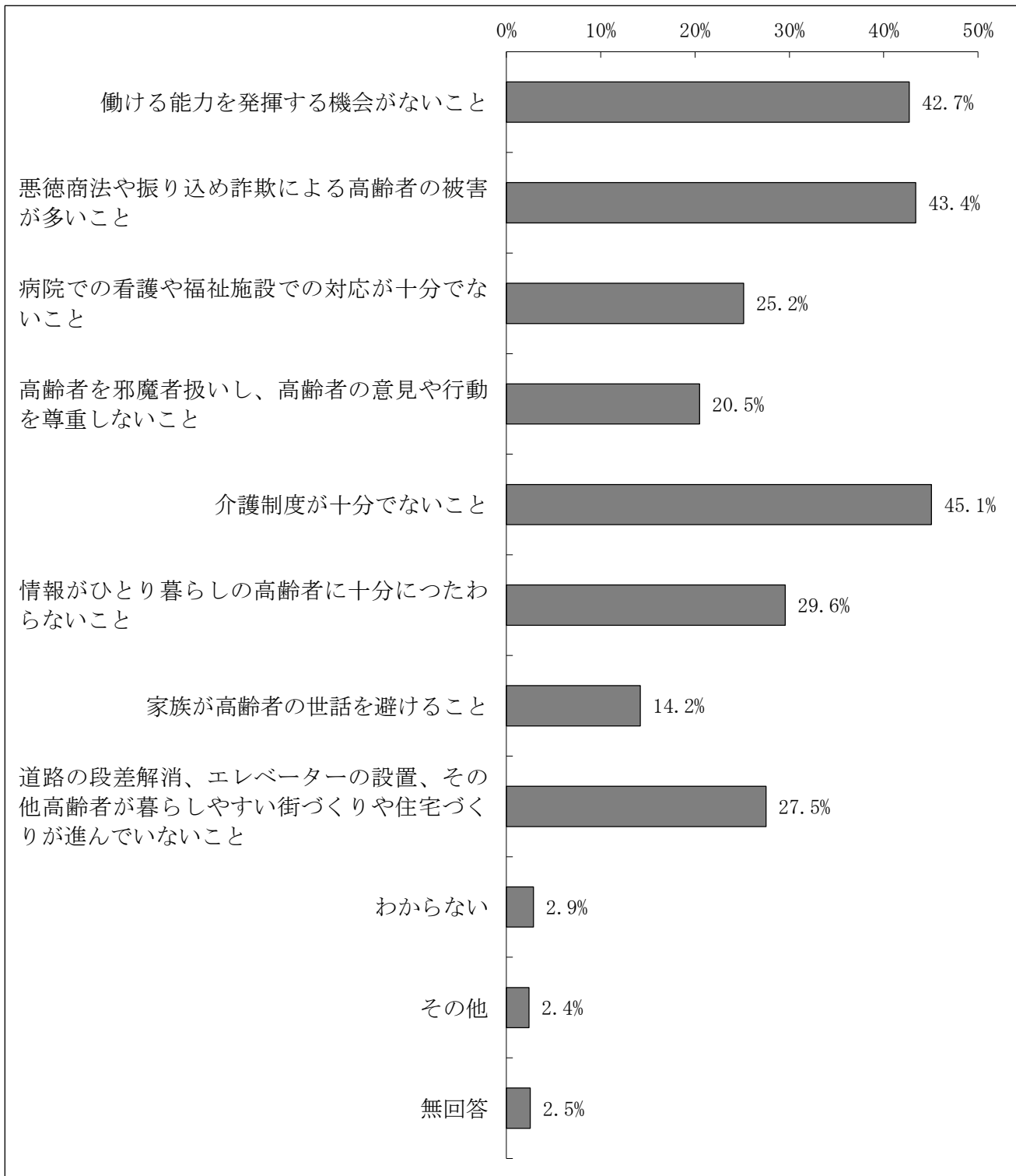
4 高齢者に関する人権について

問15 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

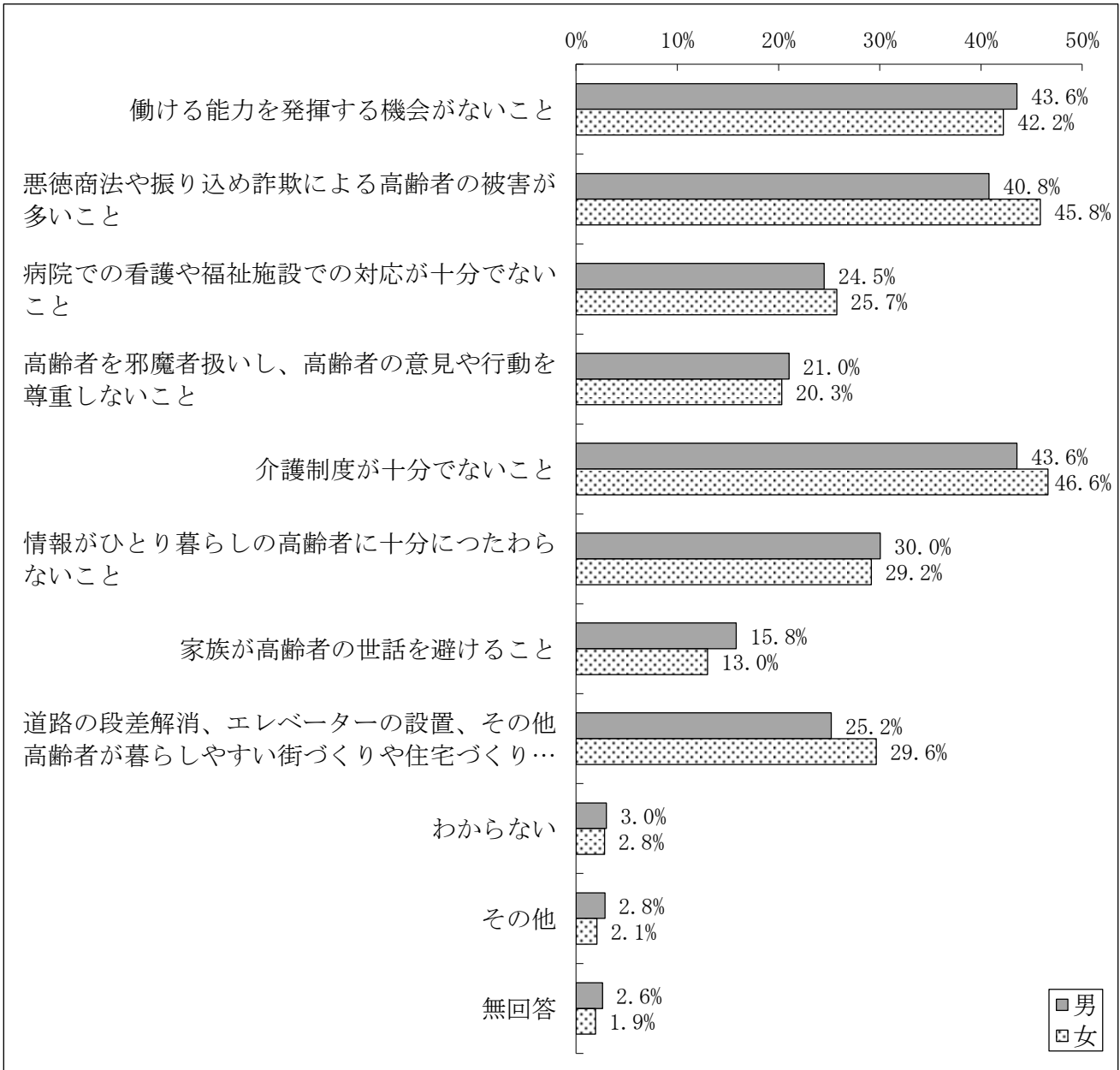
高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「介護制度が十分でないこと」が45.1%で最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が43.4%、「働ける能力を発揮する機会がないこと」が42.7%と続いている。

選択項目	回答者	構成比
働ける能力を発揮する機会がないこと	1,173	42.7%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	1,192	43.4%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	691	25.2%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	563	20.5%
介護制度が十分でないこと	1,238	45.1%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	812	29.6%
家族が高齢者の世話を避けること	390	14.2%
道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	756	27.5%
わからない	79	2.9%
その他	66	2.4%
無回答	70	2.5%



【性別】

性別で見ると、女性は「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が45.8%で、男性の40.8%を5ポイント上回っている。「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと」についても、女性が29.6%で、男性の25.2%を4.4ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代とも「介護制度が十分でないこと」、「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」、「働ける能力を発揮する機会がないこと」の選択率が高くなっている。

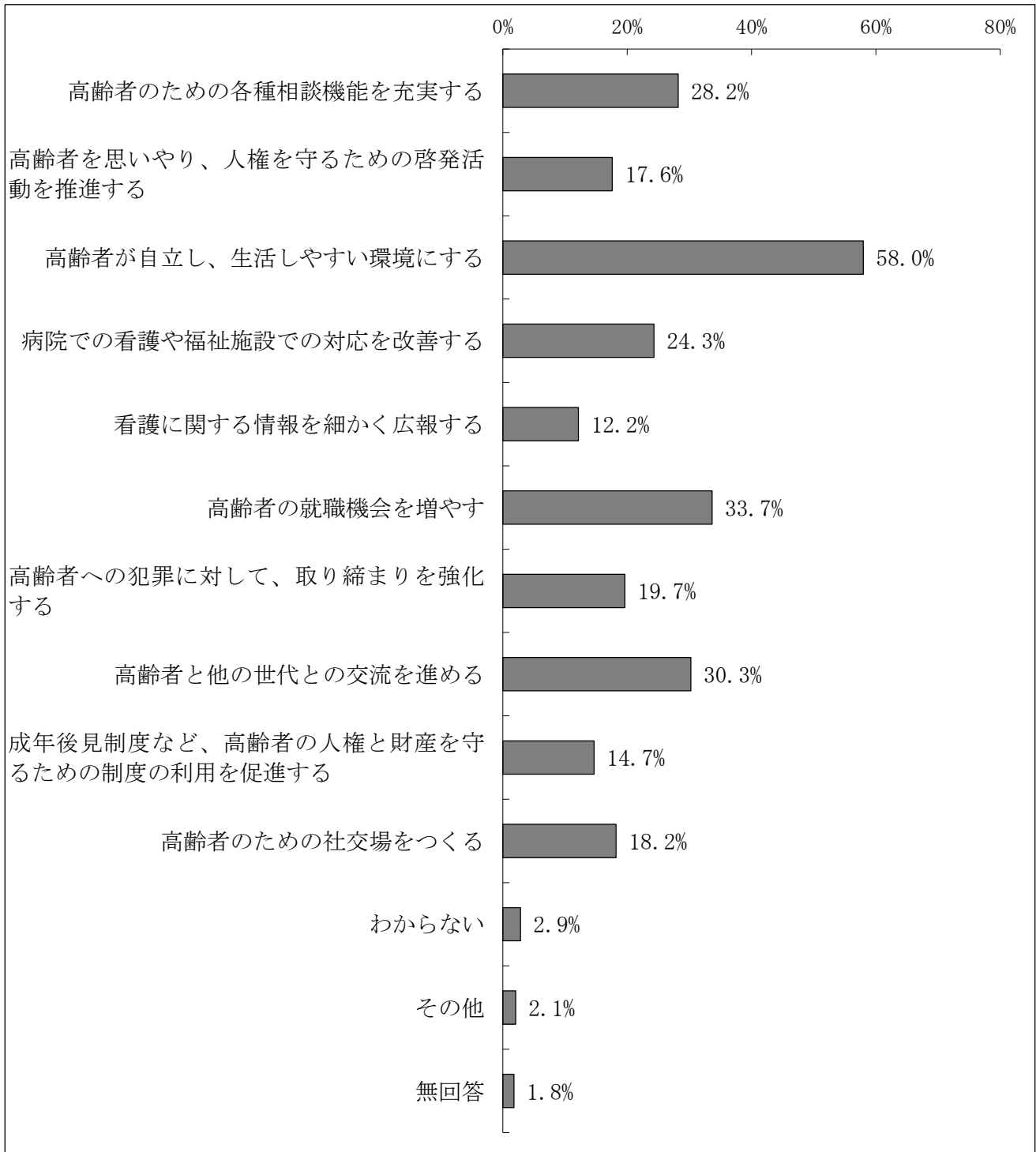
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
働ける能力を発揮する機会がないこと	37.2%	40.6%	45.7%	45.6%	44.6%	39.4%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	39.5%	45.2%	44.4%	42.1%	39.9%	48.1%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	29.3%	21.9%	25.5%	29.9%	26.7%	20.3%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	19.5%	20.7%	18.6%	21.8%	20.1%	22.6%
介護制度が十分でないこと	46.5%	43.4%	46.7%	52.3%	46.6%	36.8%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	34.0%	25.8%	25.3%	31.3%	33.2%	30.0%
家族が高齢者の世話を避けること	19.5%	12.8%	11.6%	13.4%	13.1%	17.9%
道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	20.0%	23.5%	25.5%	22.5%	33.7%	33.6%
わからない	1.9%	3.8%	3.5%	1.6%	2.6%	3.4%
その他	2.3%	3.3%	2.4%	2.5%	1.5%	2.6%
無回答	0.5%	1.0%	0.5%	2.1%	3.4%	4.7%

問16 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

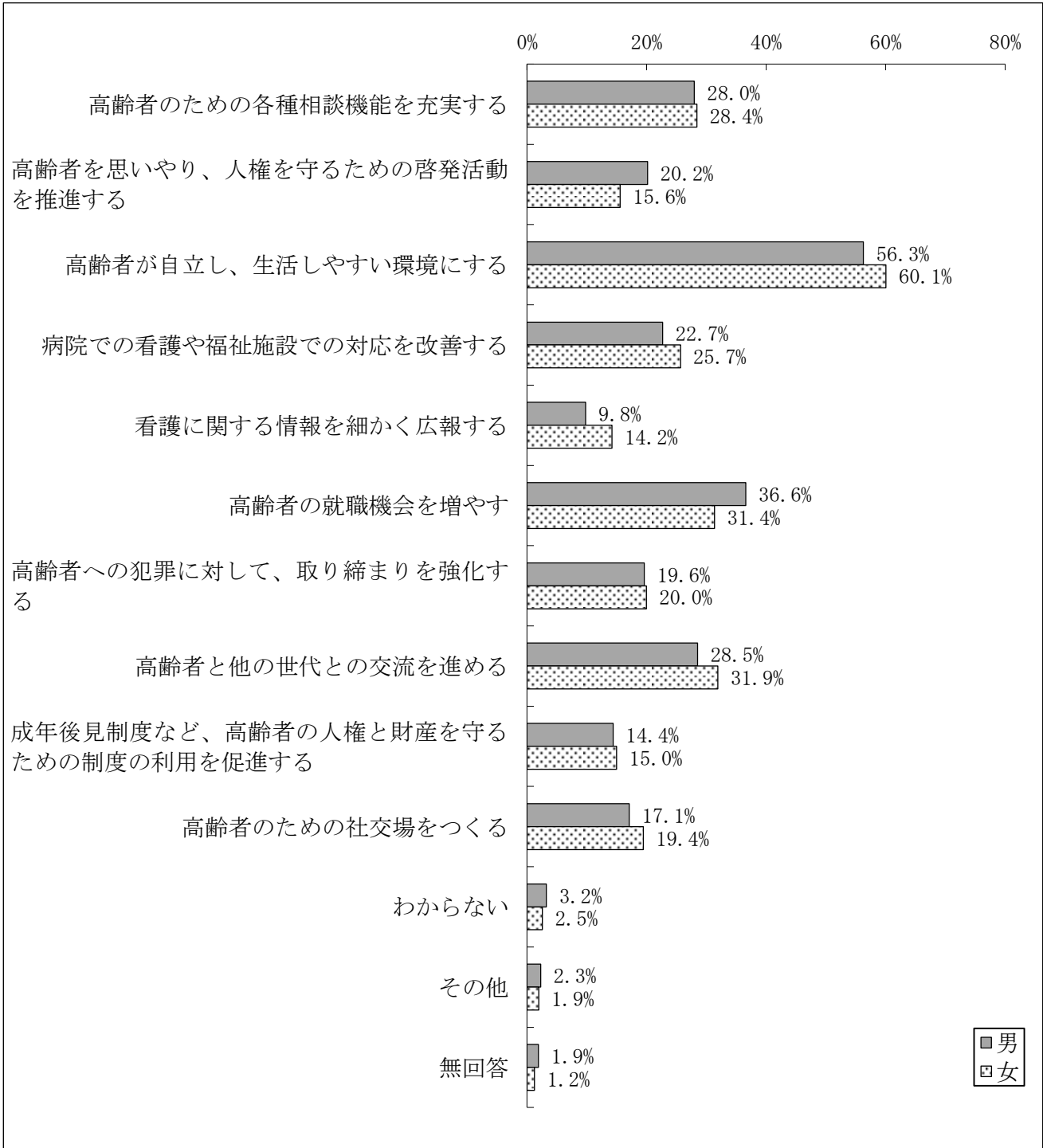
高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「高齢者が自立し、生活しやすい環境にする」が58.0%で最も高く、次いで「高齢者の就職機会を増やす」が33.7%、「高齢者与其他の世代との交流を進める」が30.3%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
高齢者のための各種相談機能を充実する	775	28.2%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	484	17.6%
高齢者が自立し、生活しやすい環境にする	1,593	58.0%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	668	24.3%
看護に関する情報を細かく広報する	334	12.2%
高齢者の就職機会を増やす	925	33.7%
高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する	540	19.7%
高齢者与其他の世代との交流を進める	831	30.3%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	403	14.7%
高齢者のための社交場をつくる	501	18.2%
わからない	79	2.9%
その他	57	2.1%
無回答	50	1.8%



【性別】

性別で見ると、男性は「高齢者の就職機会を増やす」が36.6%で、女性の31.4%を5.2ポイント上回っている。「高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する」については、男性が20.2%で、女性の15.6%を4.6ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「高齢者が自立し、生活しやすい環境にする」の回答が最も多く、50～60%台となっている。「高齢者のための各種相談機能を充実する」の選択率は、20～40歳代では20%前後となっているが、50～60歳代及び70歳以上では30%を上回っている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
高齢者のための各種相談機能を充実する	21.4%	19.9%	22.6%	31.0%	34.9%	34.0%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	13.0%	10.5%	16.3%	17.6%	21.0%	22.4%
高齢者が自立し、生活しやすい環境にする	50.7%	52.3%	50.7%	58.8%	68.3%	62.3%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	28.8%	23.2%	26.9%	27.1%	24.3%	18.3%
看護に関する情報を細かく広報する	12.6%	8.4%	9.4%	9.5%	15.0%	17.2%
高齢者の就職機会を増やす	29.8%	37.0%	40.8%	34.0%	34.1%	24.8%
高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する	20.9%	19.6%	24.1%	21.1%	15.7%	18.1%
高齢者和其他の世代との交流を進める	32.1%	38.0%	30.9%	27.3%	26.7%	29.7%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	12.1%	13.0%	15.5%	20.4%	14.3%	11.9%
高齢者のための社交場をつくる	25.6%	20.4%	16.7%	15.3%	15.7%	20.9%
わからない	2.8%	3.3%	4.0%	2.1%	1.9%	3.2%
その他	2.8%	2.3%	3.0%	2.3%	1.2%	1.5%
無回答	0.5%	1.8%	0.9%	1.6%	1.0%	3.0%

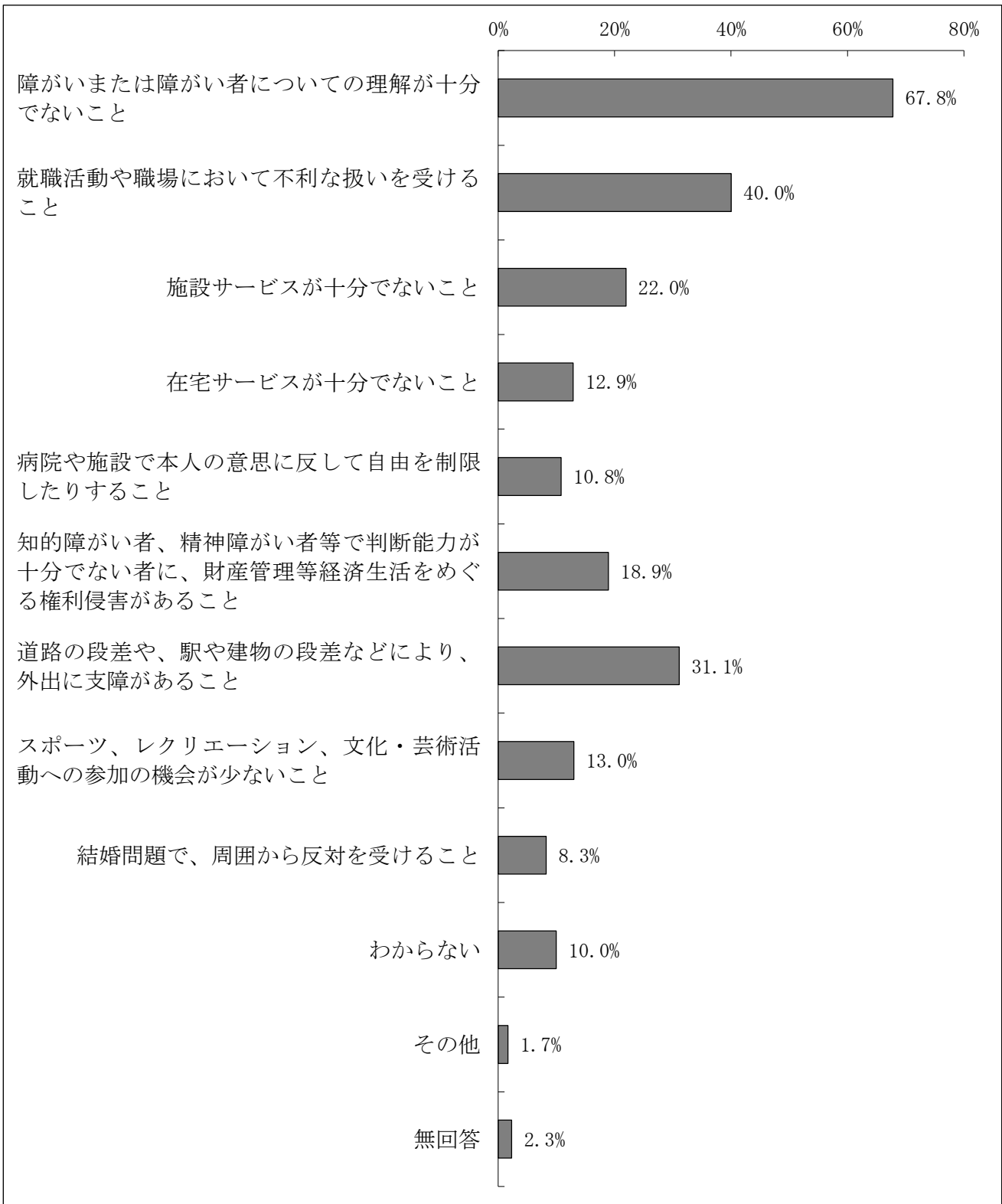
5 障がい者に関する人権について

問17 障がい者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

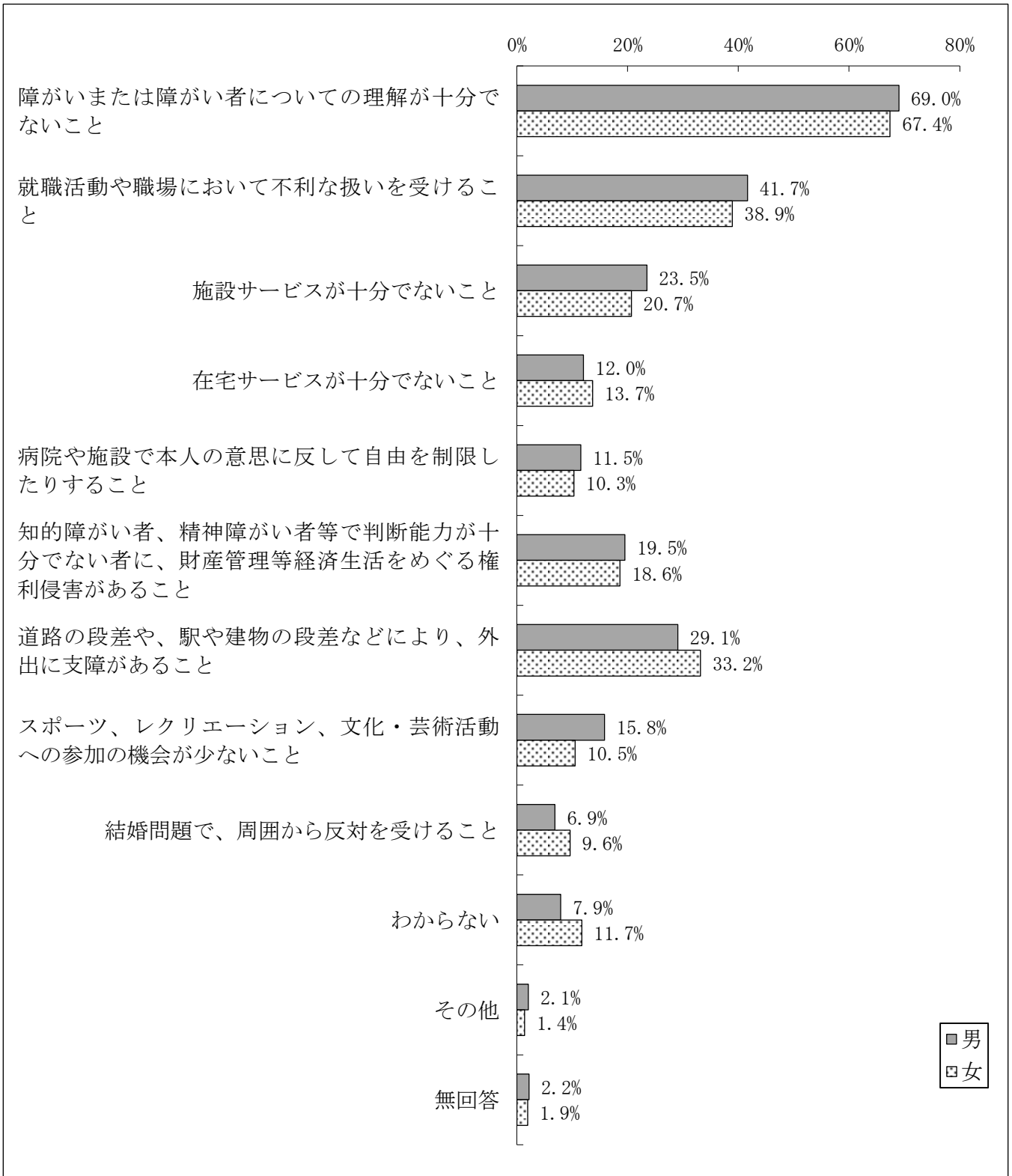
障がい者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと」が67.8%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.0%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が31.1%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと	1,863	67.8%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	1,099	40.0%
施設サービスが十分でないこと	603	22.0%
在宅サービスが十分でないこと	354	12.9%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	297	10.8%
知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	520	18.9%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	854	31.1%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	357	13.0%
結婚問題で、周囲から反対を受けること	227	8.3%
わからない	274	10.0%
その他	46	1.7%
無回答	64	2.3%



【性別】

性別で見ると、男性は「スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと」が15.8%で、女性の10.5%を5.3ポイント上回っている。「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」については、女性が33.2%で、男性の29.1%を4.1ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと」の回答が最も多く、50%を上回っているが、中でも20～30歳代及び50歳代の選択率は70%を超えている。

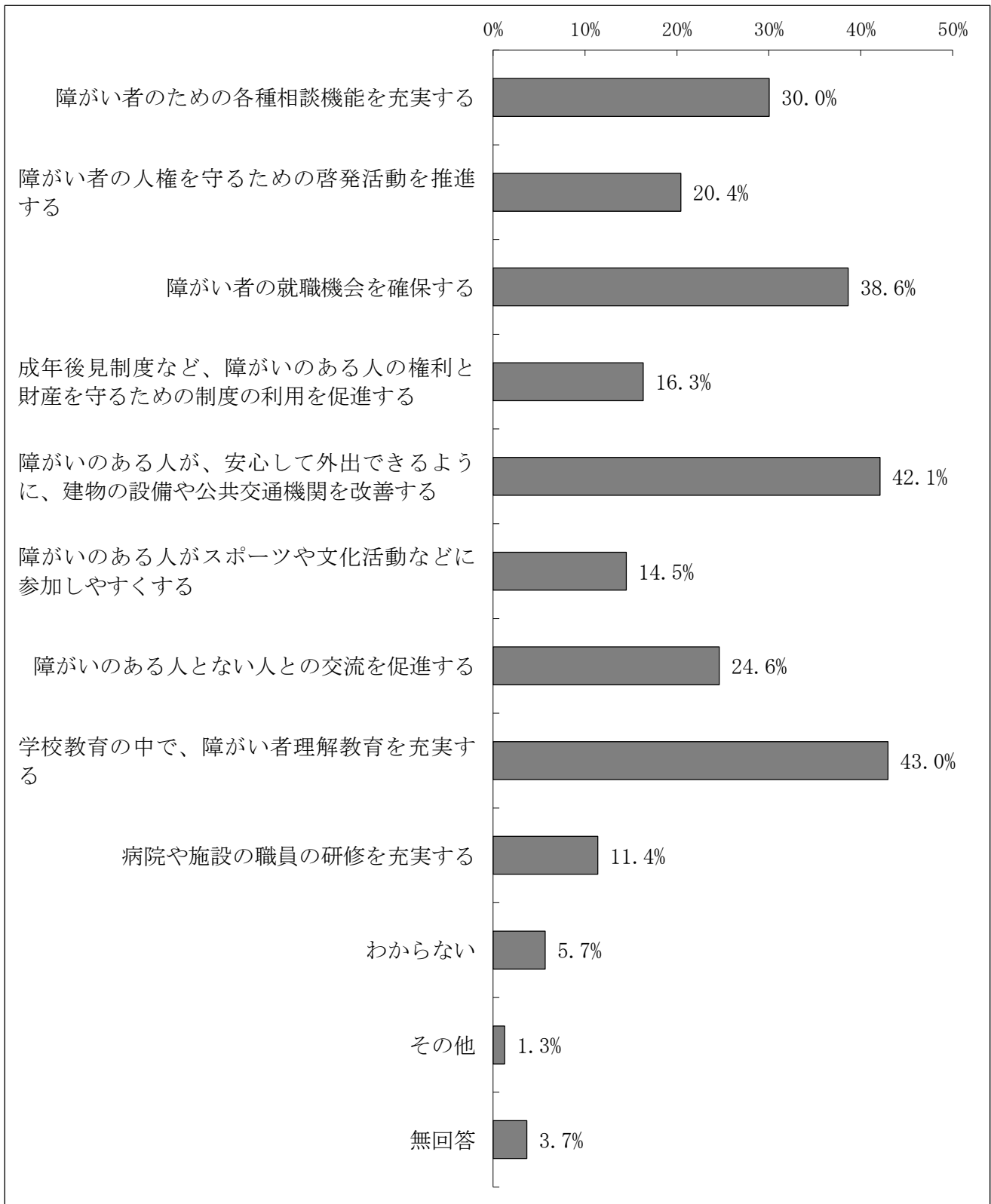
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと	79.1%	71.7%	67.2%	72.2%	68.7%	58.0%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	43.3%	41.1%	36.6%	42.1%	42.5%	37.7%
施設サービスが十分でないこと	14.4%	20.9%	21.4%	24.1%	25.0%	21.6%
在宅サービスが十分でないこと	7.4%	12.8%	12.8%	13.0%	13.4%	14.9%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	11.6%	8.4%	9.5%	8.8%	12.2%	13.6%
知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	19.1%	15.8%	22.4%	22.5%	16.9%	17.0%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	24.7%	27.3%	31.1%	33.3%	35.1%	30.6%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	7.9%	11.0%	8.7%	12.3%	16.4%	18.1%
結婚問題で、周囲から反対を受けること	14.4%	11.2%	6.8%	6.9%	7.2%	7.6%
わからない	6.0%	7.1%	9.9%	8.3%	10.3%	14.7%
その他	2.8%	3.3%	2.3%	1.4%	0.7%	0.7%
無回答	0.9%	1.5%	0.9%	1.6%	1.7%	4.9%

問18 障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

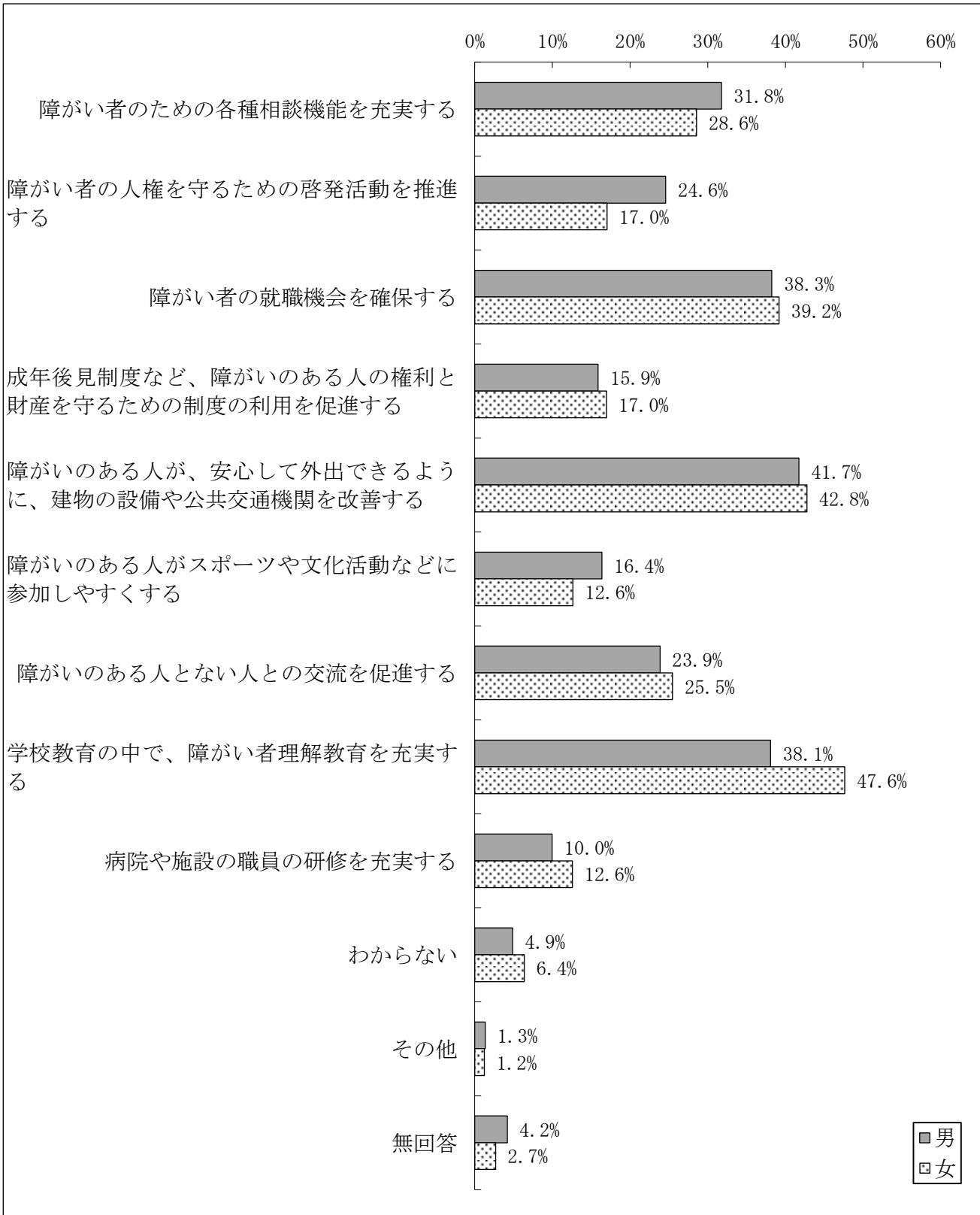
障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する」が43.0%で最も高く、次いで「障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が42.1%、「障がい者の就職機会を確保する」が38.6%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
障がい者のための各種相談機能を充実する	825	30.0%
障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する	561	20.4%
障がい者の就職機会を確保する	1,061	38.6%
成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	449	16.3%
障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	1,156	42.1%
障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	398	14.5%
障がいのある人とない人との交流を促進する	676	24.6%
学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する	1,180	43.0%
病院や施設の職員の研修を充実する	313	11.4%
わからない	156	5.7%
その他	35	1.3%
無回答	101	3.7%



【性別】

性別で見ると、女性は「学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する」が47.6%で、男性の38.1%を9.5ポイント上回っている。「障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する」については、男性が24.6%で、女性の17.0%を7.6ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する」が、20～50歳代で各選択肢の中で最も高く40%を超えている。60歳代及び70歳以上では、「障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が最も高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳以 上
障がい者のための各種相談機能を充実する	20.0%	18.4%	26.4%	29.6%	36.7%	39.9%
障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する	13.5%	18.1%	18.2%	22.0%	24.3%	22.2%
障がい者の就職機会を確保する	36.7%	42.9%	34.4%	37.5%	41.3%	39.2%
成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	15.3%	15.6%	15.5%	21.3%	15.0%	15.9%
障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	38.6%	38.5%	41.8%	41.7%	47.3%	41.2%
障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	13.5%	14.3%	10.2%	15.5%	18.6%	14.4%
障がいのある人とない人との交流を促進する	34.4%	34.9%	27.4%	22.2%	20.0%	17.5%
学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する	47.9%	47.4%	47.9%	46.1%	39.6%	34.5%
病院や施設の職員の研修を充実する	12.6%	8.2%	11.1%	12.3%	11.5%	13.1%
わからない	3.3%	6.4%	7.6%	5.1%	4.0%	6.5%
その他	3.7%	2.0%	1.7%	1.2%	0.3%	0.4%
無回答	1.9%	0.8%	1.6%	2.3%	4.6%	7.5%

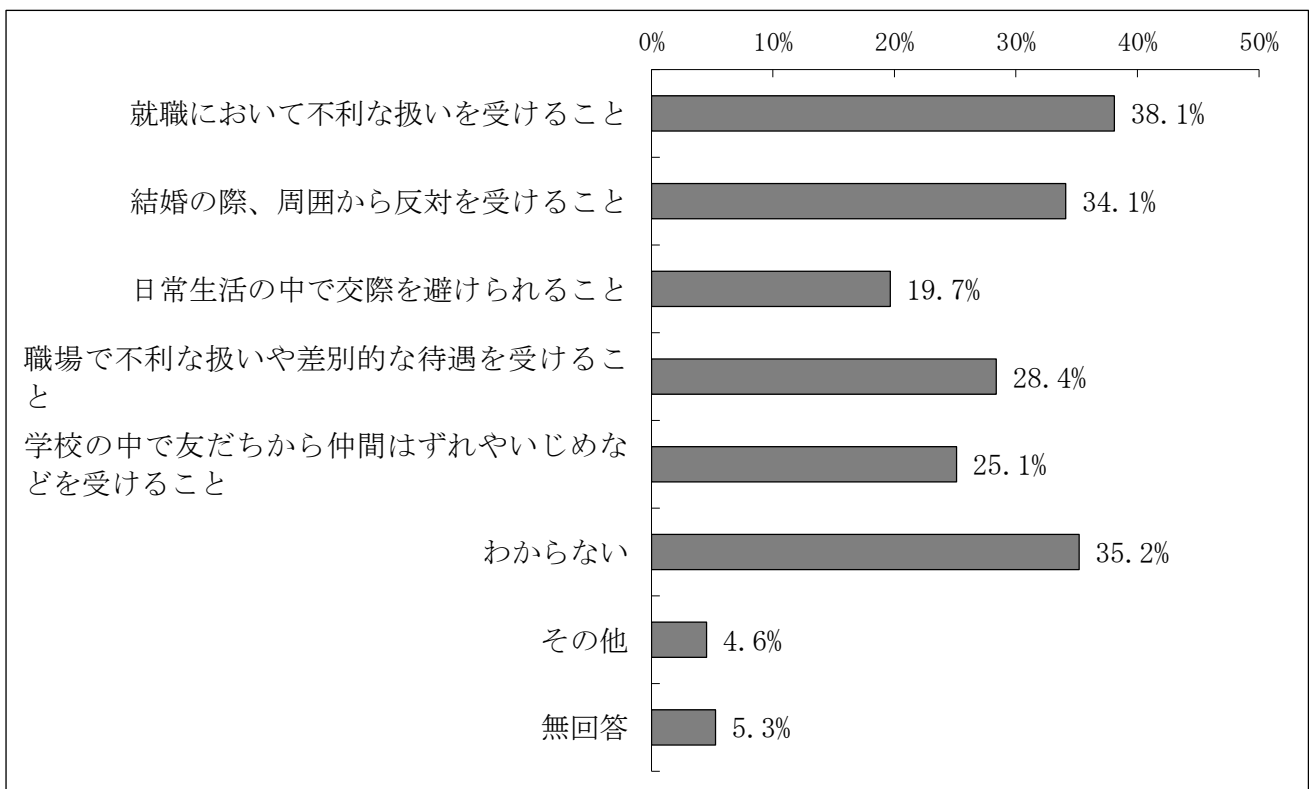
6 同和問題について

問19 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
次の中から3つまでお選びください。

【全体】

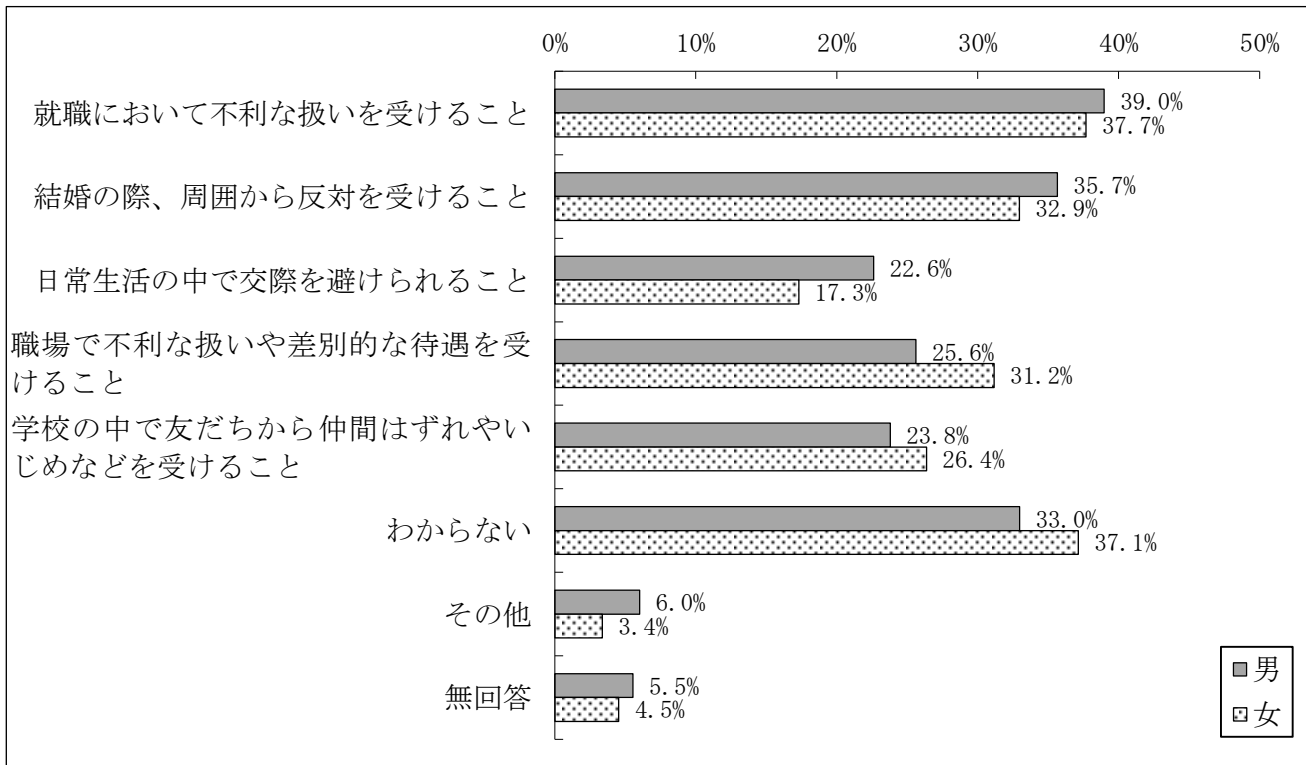
同和問題に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「就職において不利な扱いを受けること」が38.1%で最も高く、次いで「わからない」が35.2%、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が34.1%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
就職において不利な扱いを受けること	1,047	38.1%
結婚の際、周囲から反対を受けること	937	34.1%
日常生活の中で交際を避けられること	540	19.7%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	780	28.4%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	690	25.1%
わからない	967	35.2%
その他	125	4.6%
無回答	145	5.3%



【性別】

性別で見ると、女性は「職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること」が31.2%で、男性の25.6%を5.6ポイント上回っている。「日常生活の中で交際を避けられること」については、男性が22.6%で、女性の17.3%を5.3ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「就職において不利な扱いを受けること」が、20～50歳代で各選択肢の中で最も高く、特に20歳代が47.0%と最も高くなっている。

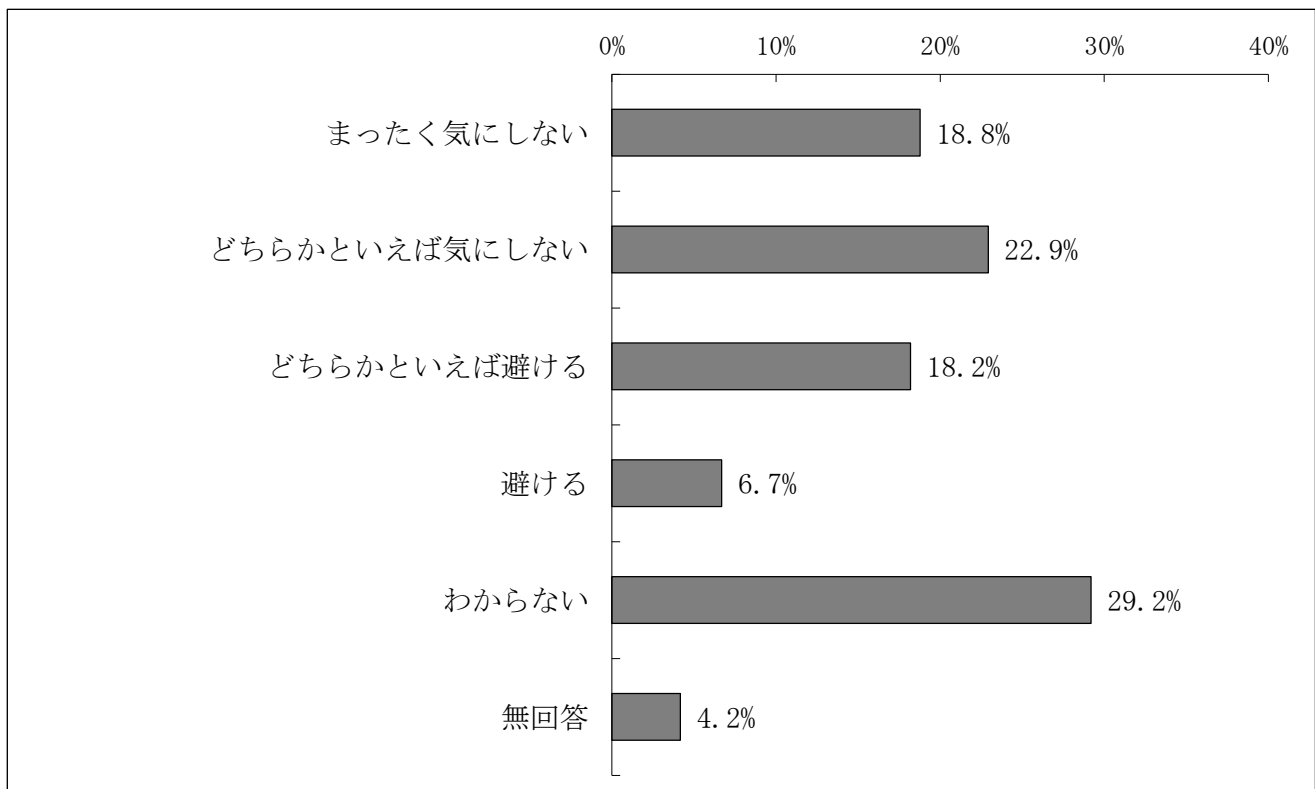
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
就職において不利な扱いを受けること	47.0%	40.8%	41.8%	38.2%	35.5%	32.1%
結婚の際、周囲から反対を受けること	39.5%	34.2%	33.0%	36.6%	35.3%	30.0%
日常生活の中で交際を避けられること	25.6%	19.1%	18.8%	18.8%	19.1%	20.3%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	39.5%	31.6%	28.6%	30.6%	26.5%	22.2%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	27.0%	27.0%	26.9%	25.9%	24.4%	21.1%
わからない	30.2%	33.7%	35.6%	34.5%	36.5%	37.7%
その他	2.8%	4.3%	3.6%	4.4%	4.3%	6.9%
無回答	0.5%	0.8%	3.1%	3.7%	6.5%	11.4%

問20 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思われませんか。次の中から1つお選びください。

【全体】

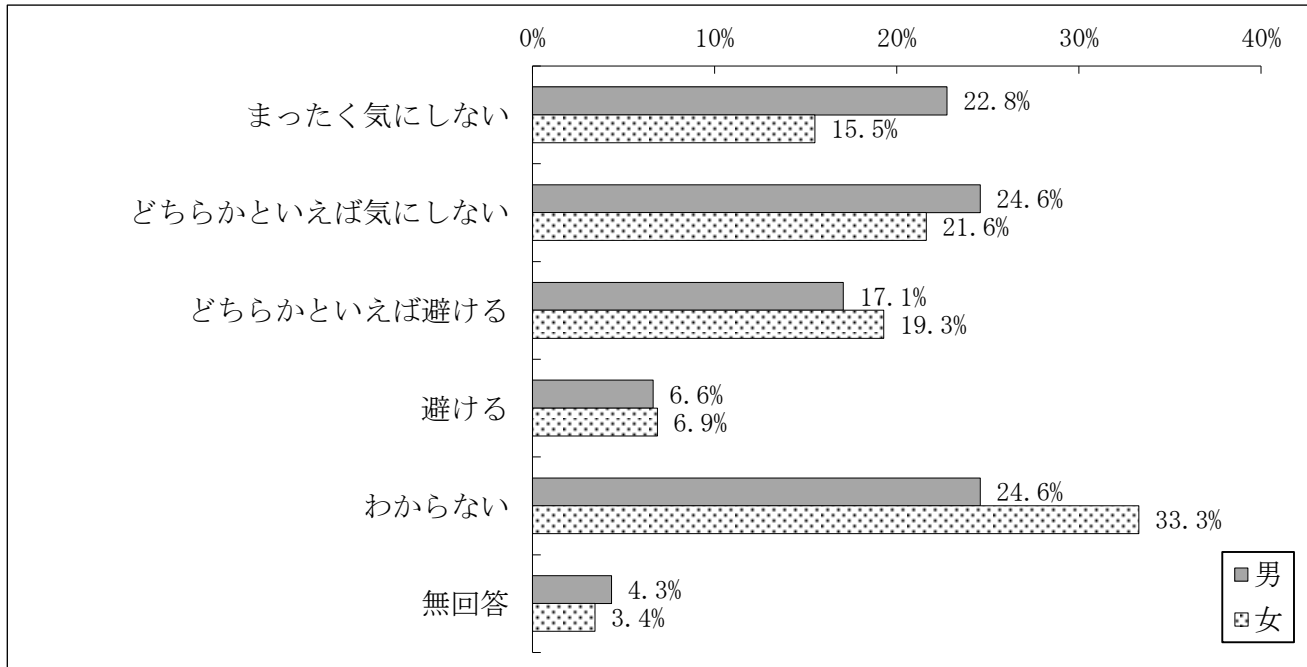
住宅や住宅環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けるか、という質問では、「どちらかといえば気にしない」(22.9%)、「まったく気にしない」(18.8%)という回答が合わせて41.7%となっている。また、「どちらかといえば避ける」(18.2%)、「避ける」(6.7%)は、合わせて24.9%となっている。なお、「わからない」が29.2%と最も高くなっている。

選択項目	回答数	構成比
まったく気にしない	516	18.8%
どちらかといえば気にしない	630	22.9%
どちらかといえば避ける	500	18.2%
避ける	184	6.7%
わからない	802	29.2%
無回答	115	4.2%



【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「まったく気にしない」（男性22.8%：女性15.5%）は、7.3ポイント、「どちらかといえば気にしない」（男性24.6%：女性21.6%）は、3.0ポイント上回り、女性は男性よりも「どちらかといえば避ける」（男性17.1%：女性19.3%）が2.2ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「まったく気にしない」は、30歳代が20.7%と他の年代と比べて最も高く、40歳代が16.3%と最も低い。「どちらかといえば気にしない」は、60歳代が25.3%と他の年代と比べて最も高く、40歳代が19.6%と最も低い。「どちらかといえば避ける」は、40歳代が21.5%と他の年代と比べて最も高く、70歳以上が13.1%と最も低い。「避ける」は、30歳代が10.5%と他の年代と比べて最も高く、60歳代が3.4%と最も低い。

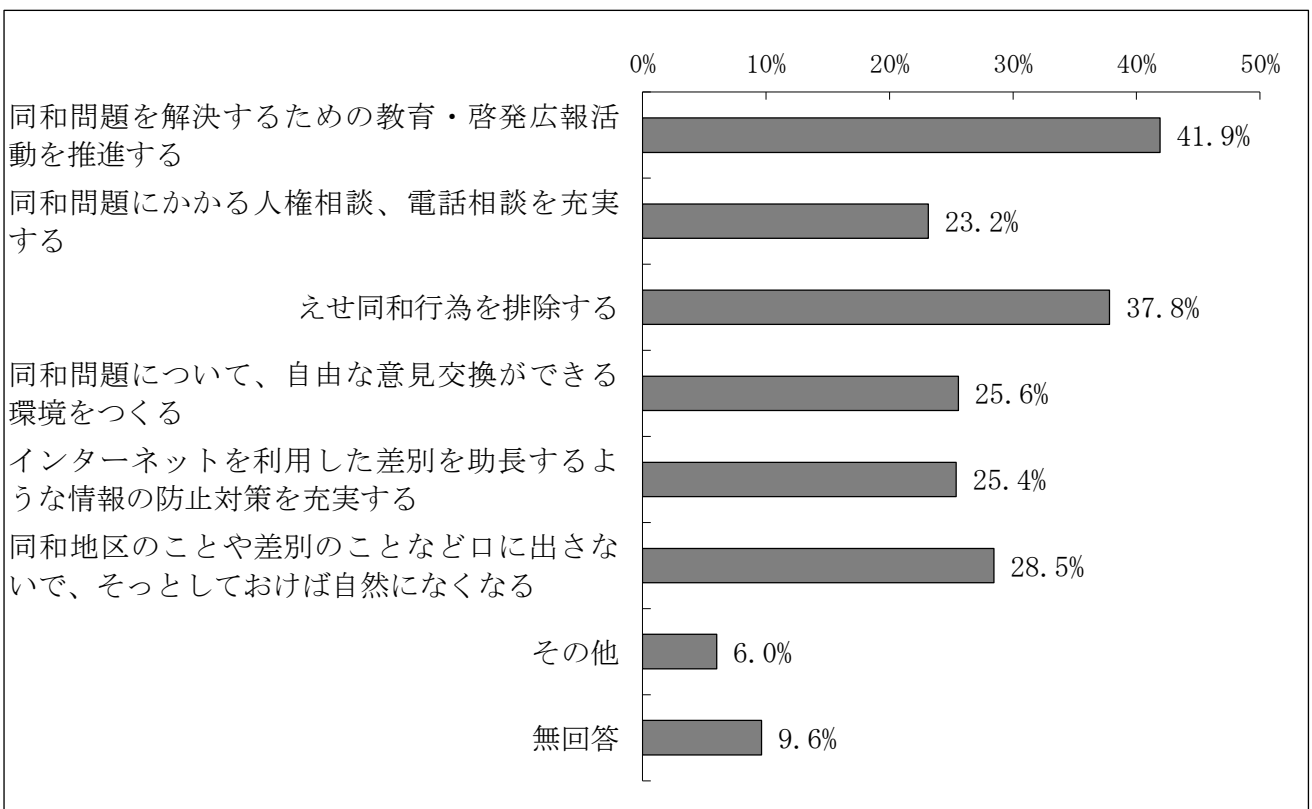
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
まったく気にしない	17.7%	20.7%	16.3%	18.1%	20.5%	19.4%
どちらかといえば気にしない	21.4%	21.9%	19.6%	24.8%	25.3%	24.1%
どちらかといえば避ける	19.1%	20.7%	21.5%	19.4%	17.0%	13.1%
避ける	7.4%	10.5%	8.2%	9.0%	3.4%	3.9%
わからない	34.0%	25.8%	32.8%	26.6%	28.1%	29.7%
無回答	0.5%	0.5%	1.6%	2.1%	5.7%	9.9%

問21 同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

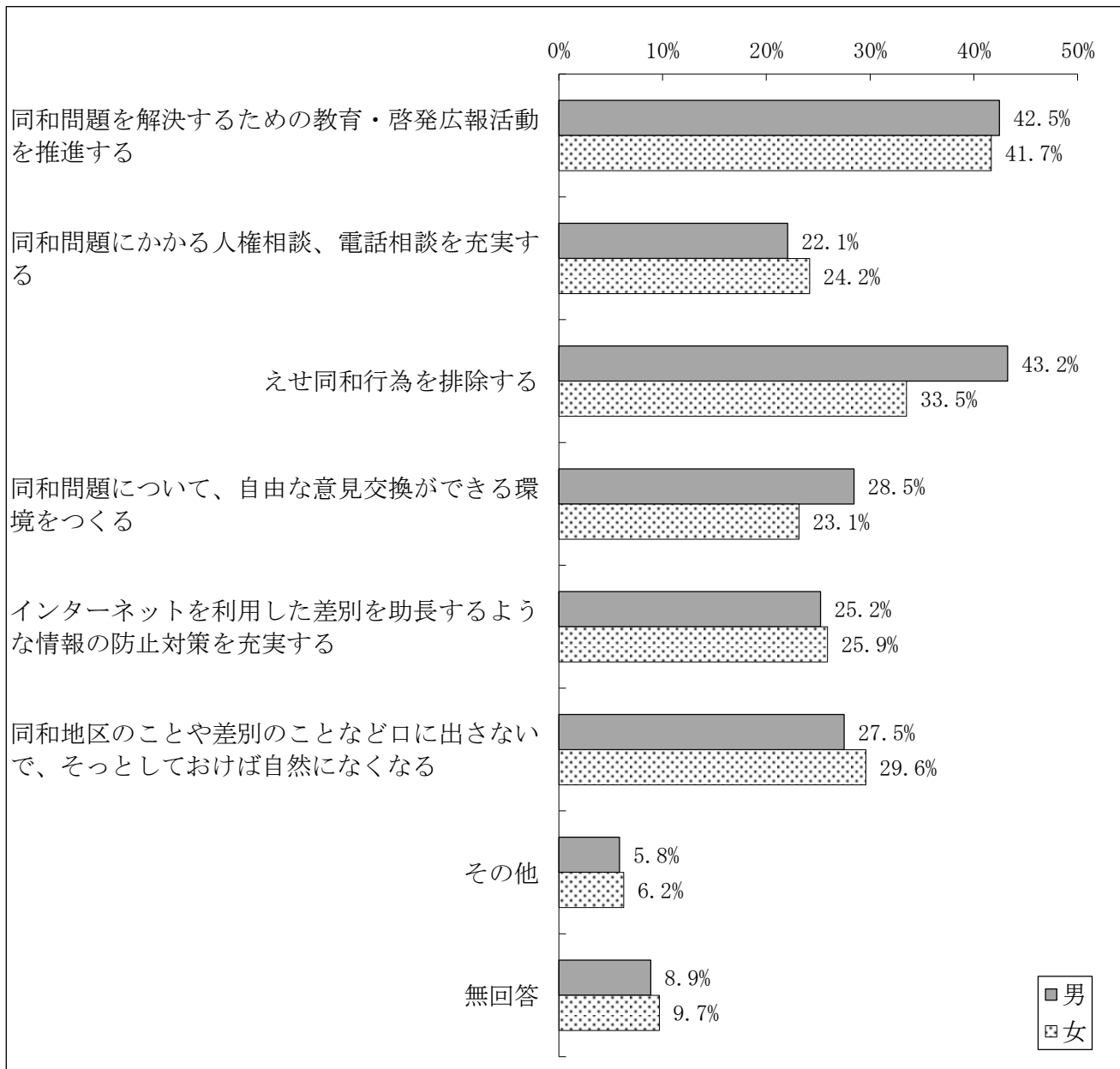
同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思うか、という質問では、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が41.9%で最も高く、次に「えせ同和行為を排除する」が37.8%、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」が28.5%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する	1,151	41.9%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	636	23.2%
えせ同和行為を排除する	1,039	37.8%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	703	25.6%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	698	25.4%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる	782	28.5%
その他	165	6.0%
無回答	265	9.6%



【性別】

性別で見ると、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」（男性42.5%：女性41.7%）は、男女の回答に大きな差は見られないが、「えせ同和行為を排除する」（男性43.2%：女性33.5%）では、男性が9.7ポイント上回っている。一方、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」は、女性が2.1ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が、40歳代を除く全ての年代で一番高い。特に、20歳代で48.8%と最も高く、40歳代についても39.2%となっている。また、「えせ同和行為を排除する」は、50歳代で44.9%と最も高く、次に40歳代が42.7%と続いている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する	48.8%	41.6%	39.2%	45.8%	42.3%	39.2%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	18.1%	20.4%	18.9%	21.3%	25.5%	30.8%
えせ同和行為を排除する	34.9%	39.8%	42.7%	44.9%	38.4%	26.7%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	18.6%	17.6%	21.9%	26.2%	32.7%	30.8%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	32.1%	29.3%	24.7%	27.8%	27.0%	17.4%
同和地区のことや差別のことなど口に出さ ないで、そっとしておけば自然になくなる	27.9%	29.1%	25.0%	21.8%	31.0%	34.9%
その他	6.5%	5.4%	7.3%	5.6%	5.5%	6.0%
無回答	3.7%	6.9%	7.6%	8.3%	8.4%	17.2%

7 外国人に関する人権について

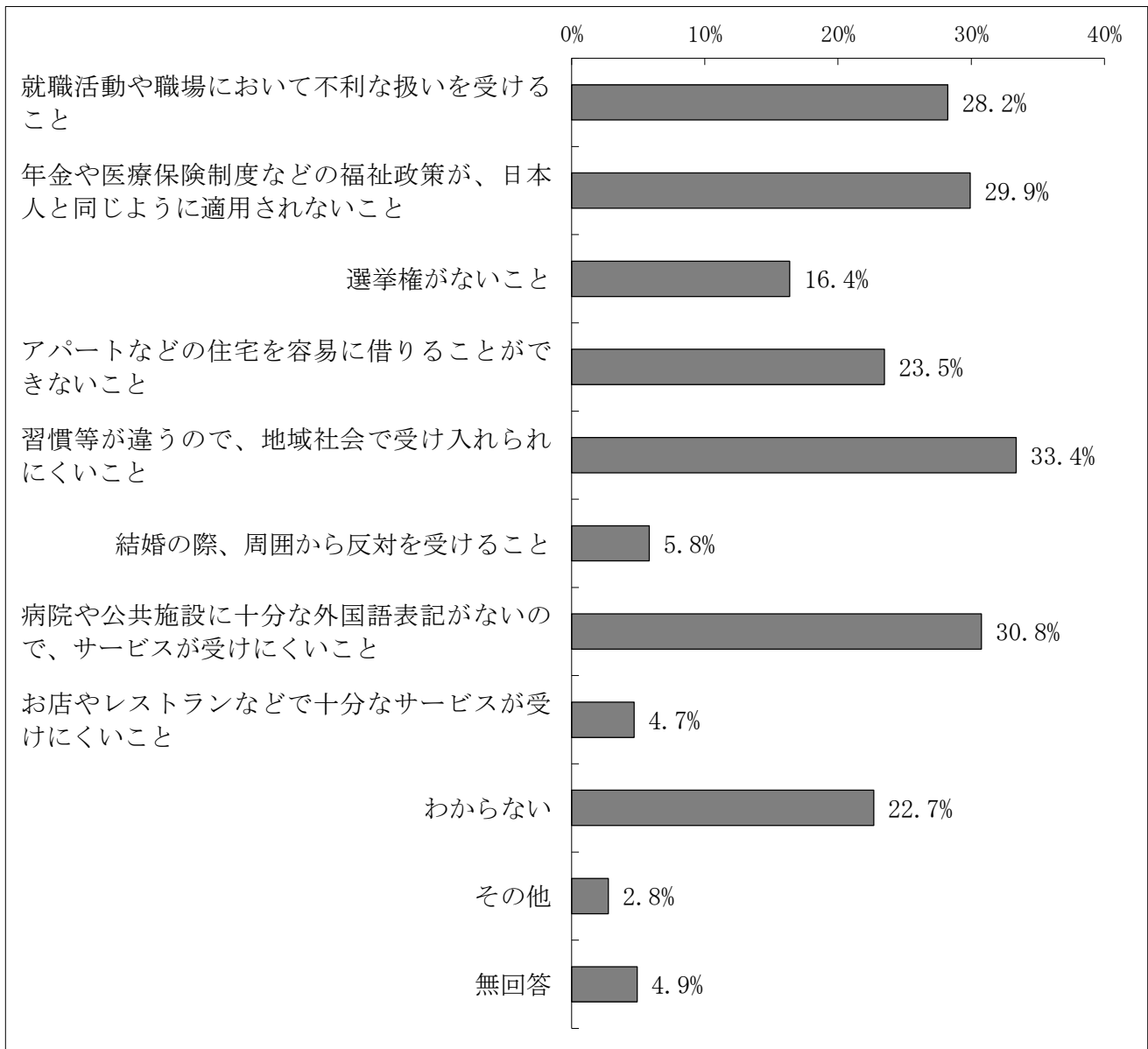
問22 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が33.4%と最も高く、次に「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと」が30.8%、「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」が29.9%と続いている。

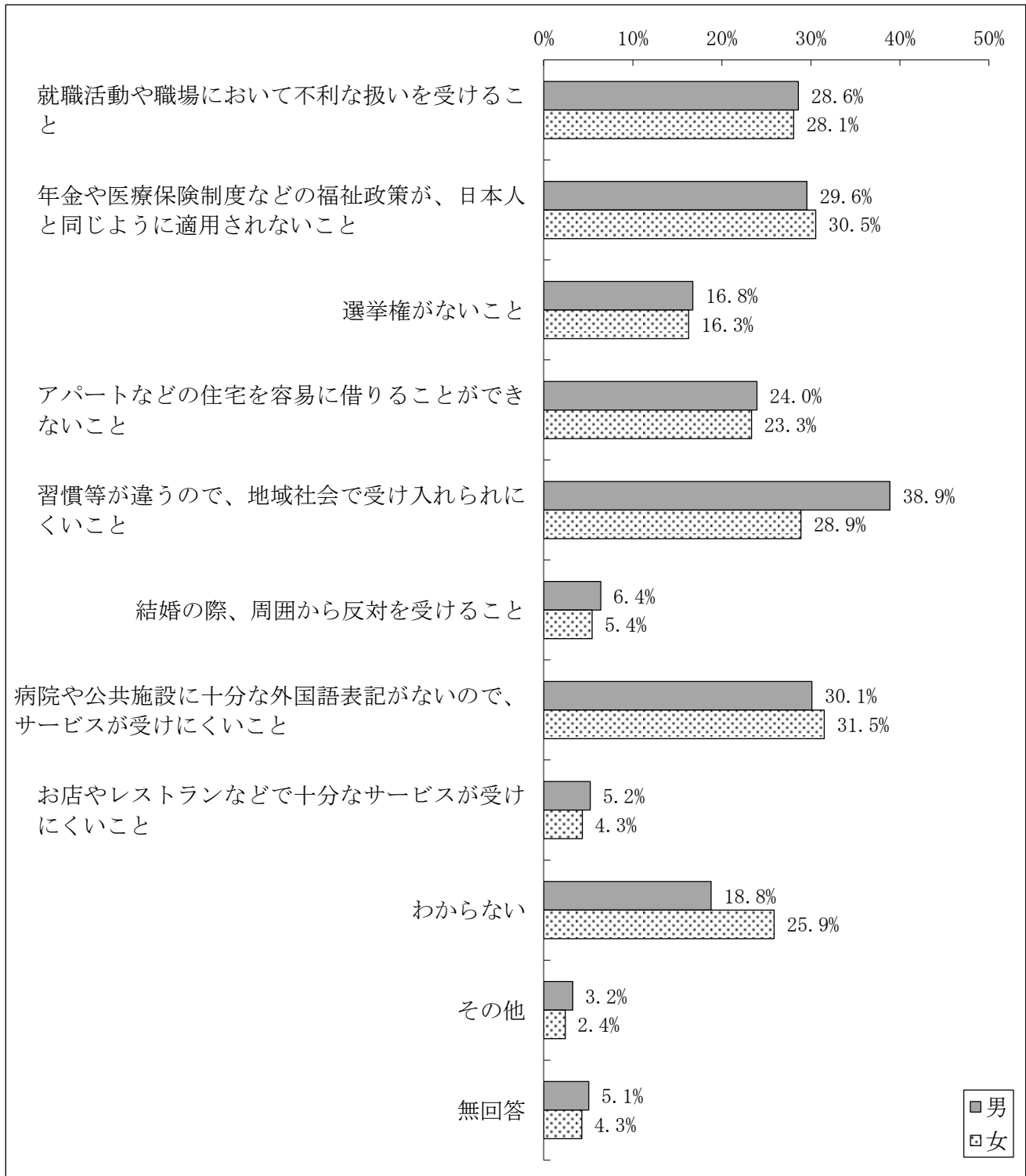
選択項目	回答数	構成比
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	776	28.2%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	822	29.9%
選挙権がないこと	450	16.4%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	645	23.5%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	917	33.4%
結婚の際、周囲から反対を受けること	160	5.8%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと	845	30.8%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	129	4.7%
わからない	623	22.7%
その他	76	2.8%
無回答	135	4.9%

調査結果の概要



【性別】

性別で見ると、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」（男性38.9%：女性28.9%）では、男性が10ポイント上回っているが、その他の項目は、「わからない」を除き、男女の回答に大きな差は見られない。



【年齢別】

年齢別では、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が、40～60歳代で各選択肢の中で最も高く、特に60歳代が38.0%と最も高くなっている。また、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと」では、20～30歳代が高く、20歳代が37.2%となっている。

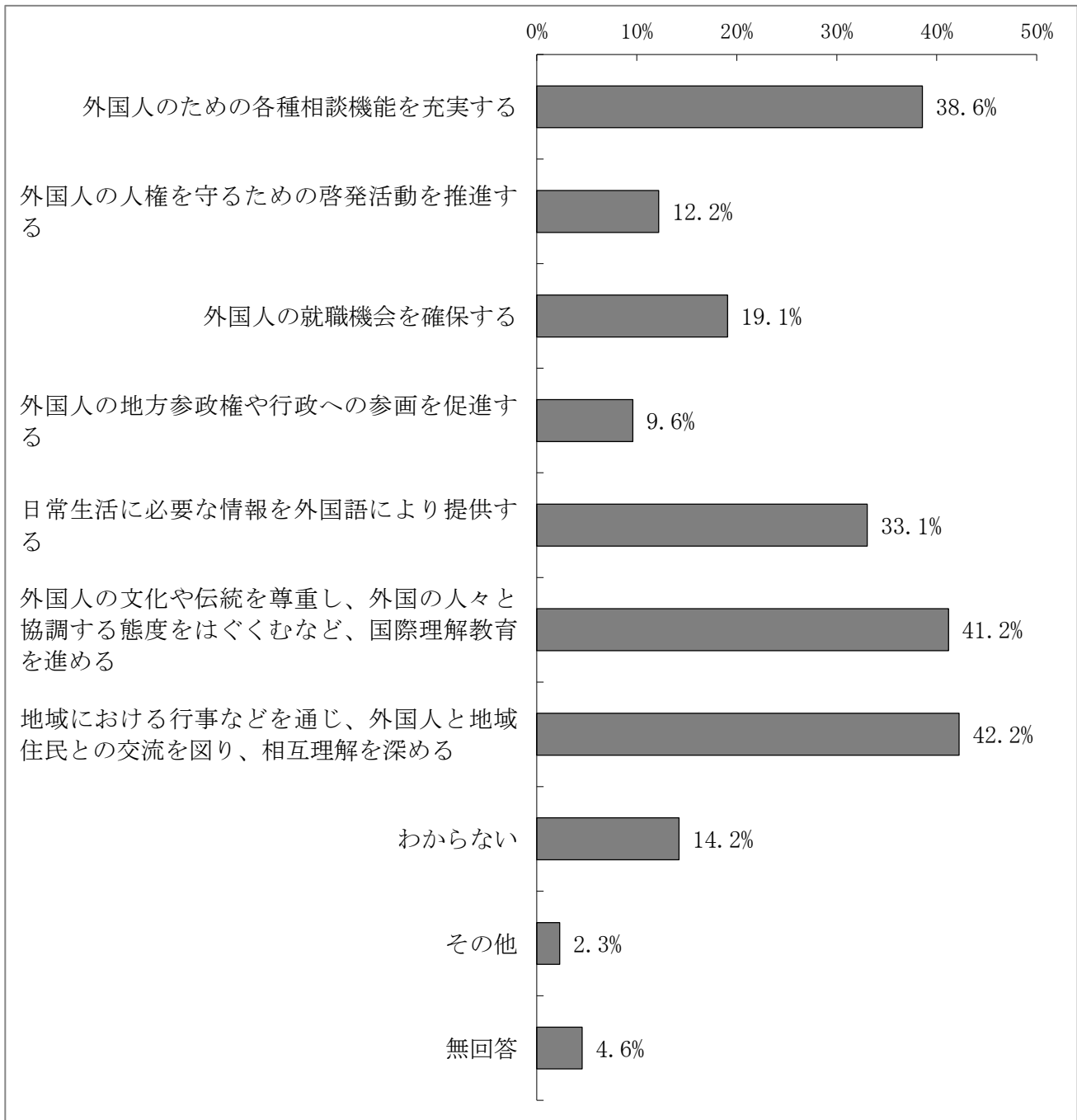
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	32.6%	28.8%	27.6%	30.6%	28.6%	25.0%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	31.6%	29.8%	28.8%	33.6%	29.6%	28.4%
選挙権がないこと	22.8%	15.3%	14.8%	16.4%	14.8%	18.3%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	25.6%	23.7%	22.4%	28.9%	25.0%	18.1%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	33.5%	30.6%	33.0%	34.7%	38.0%	30.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	8.4%	7.4%	4.7%	4.6%	5.9%	5.8%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと	37.2%	33.7%	25.5%	33.8%	33.0%	27.1%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	11.6%	7.7%	4.9%	3.2%	2.8%	2.8%
わからない	9.3%	19.6%	22.7%	20.6%	23.6%	31.5%
その他	1.4%	3.8%	2.8%	3.7%	1.5%	3.0%
無回答	1.9%	2.0%	4.2%	0.9%	6.0%	9.5%

問23 日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

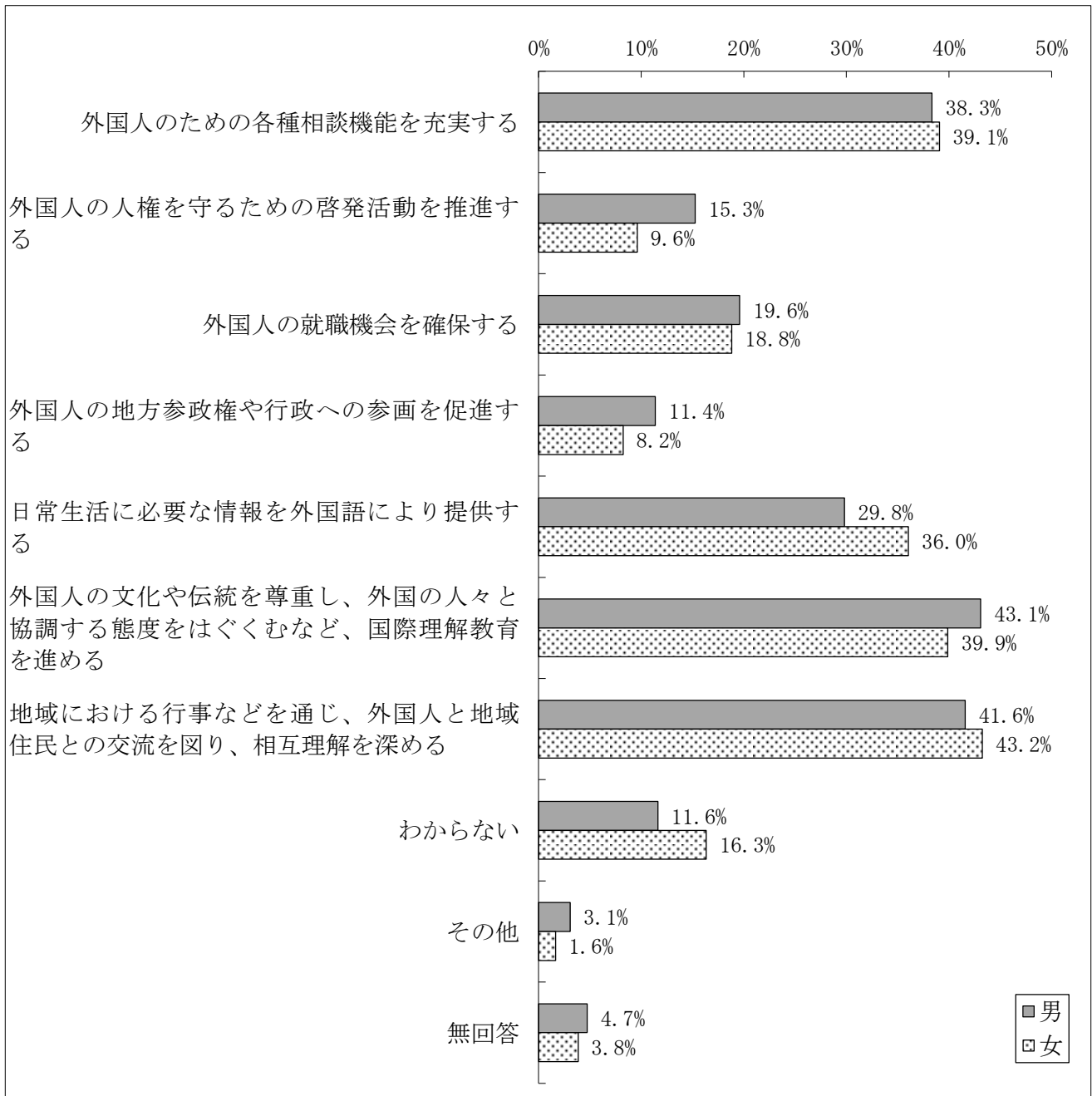
日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思うか、という質問では、「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が42.2%と最も高く、次に「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める」が41.2%、「外国人のための各種相談機能を充実する」が38.6%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
外国人のための各種相談機能を充実する	1,059	38.6%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	335	12.2%
外国人の就職機会を確保する	524	19.1%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	264	9.6%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	908	33.1%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める	1,131	41.2%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	1,160	42.2%
わからない	391	14.2%
その他	63	2.3%
無回答	125	4.6%



【性別】

性別で見ると、「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」（男性29.8%：女性36.0%）と女性が6.2ポイント上回っている。「外国人の人権を守るための啓発活動を推進する」（男性15.3%：女性9.6%）では、男性が5.7ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める」が、20歳代47.9%、30歳代43.4%、50歳代46.1%、60歳代41.3%と40%を上回っている。また、「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」では、40歳代38.4%、60歳代46.8%と各選択肢中で最も高い。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
外国人のための各種相談機能を充実する	26.5%	34.9%	34.9%	44.0%	43.2%	41.2%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	9.8%	7.4%	10.8%	13.4%	14.6%	14.6%
外国人の就職機会を確保する	25.6%	19.1%	17.4%	18.5%	20.7%	17.4%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	13.0%	10.7%	9.2%	11.6%	6.9%	9.5%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	36.3%	39.3%	32.5%	34.0%	33.0%	27.2%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める	47.9%	43.4%	37.8%	46.1%	41.3%	36.8%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	47.0%	41.8%	38.4%	42.4%	46.8%	40.5%
わからない	8.8%	12.2%	15.3%	12.0%	14.1%	19.0%
その他	2.3%	2.8%	2.8%	2.8%	1.2%	2.1%
無回答	0.9%	2.0%	4.0%	0.7%	5.2%	9.3%

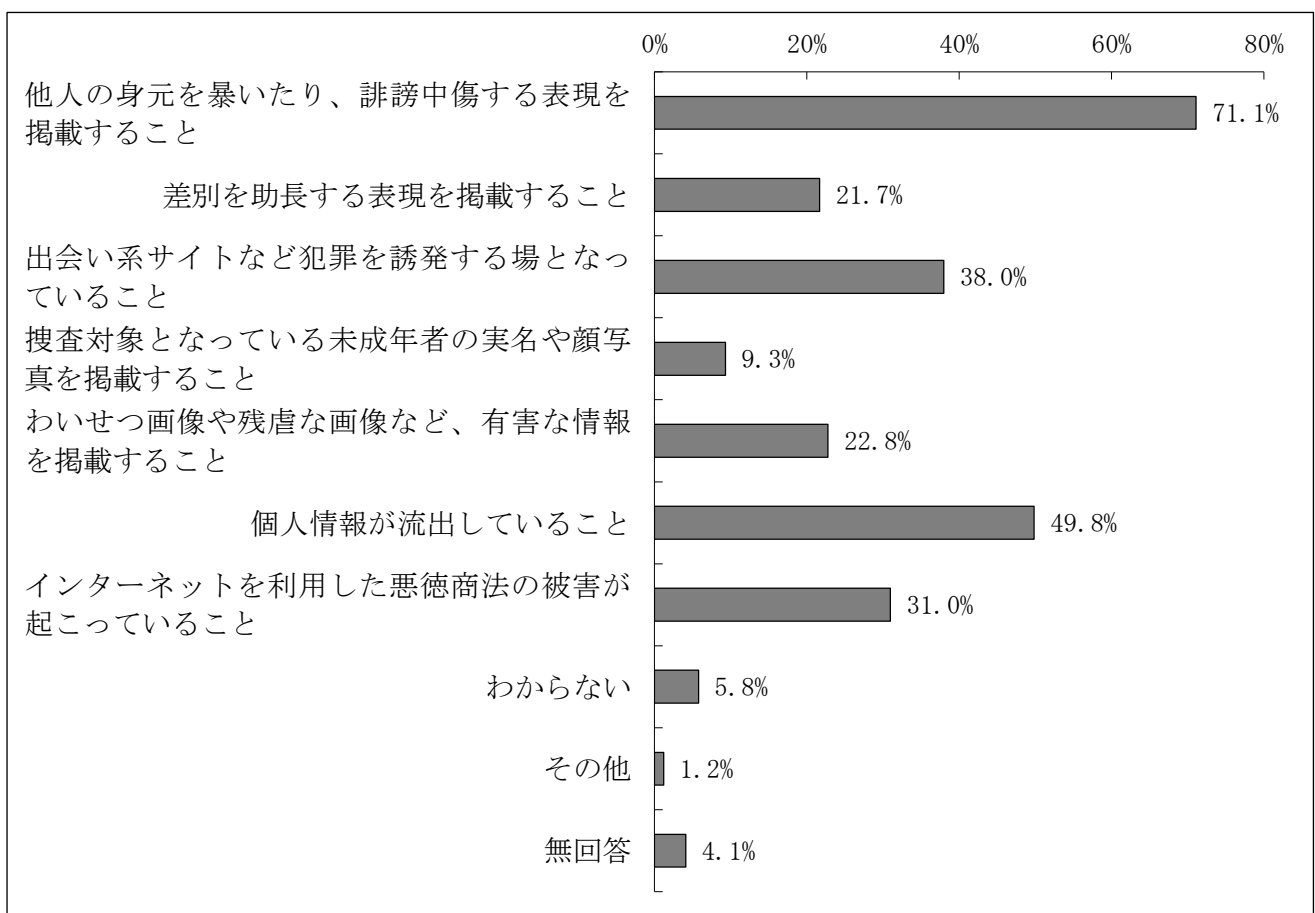
8 インターネットによる人権侵害について

問24 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

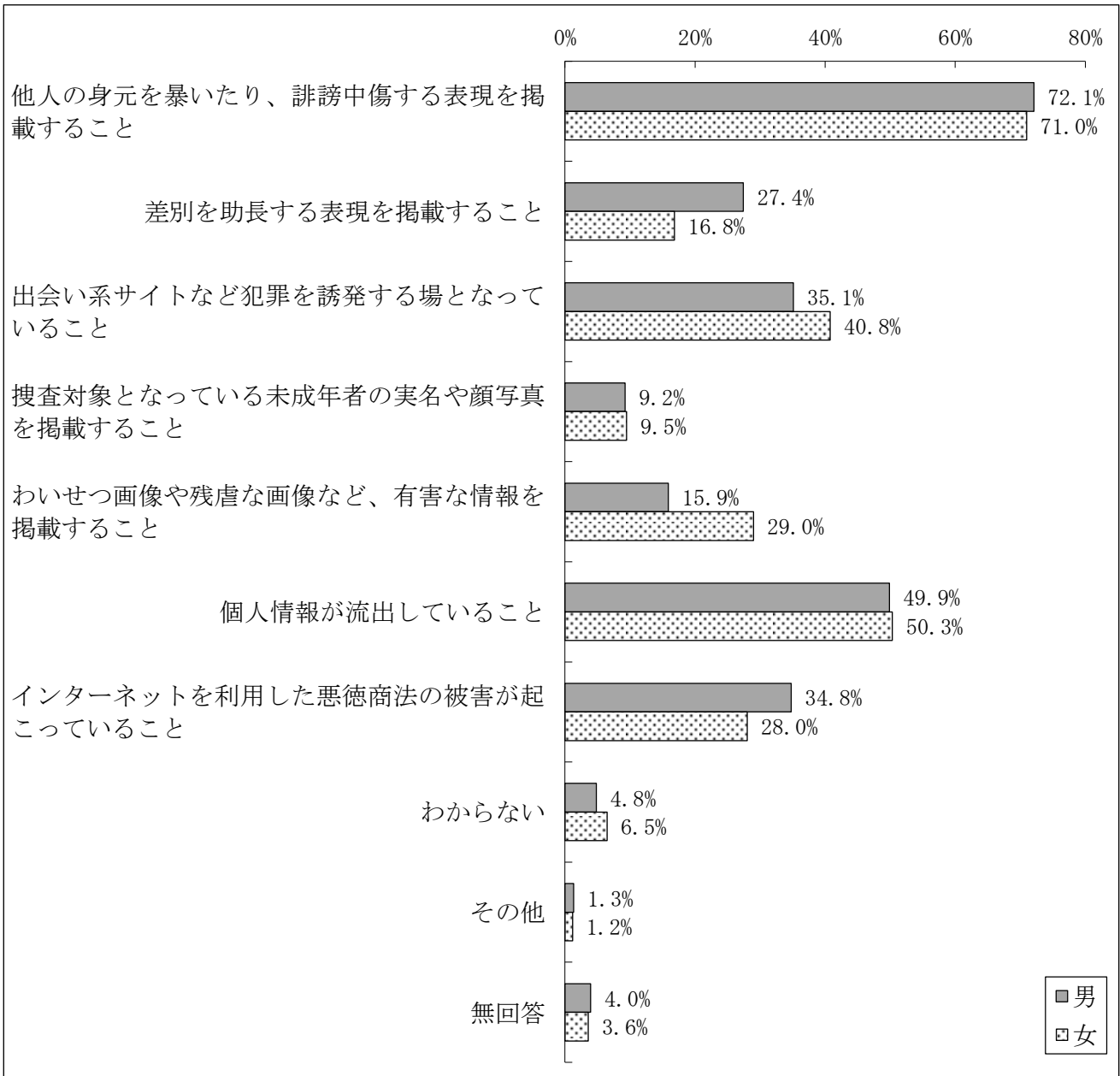
インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が71.1%で最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が49.8%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が38.0%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	1,953	71.1%
差別を助長する表現を掲載すること	596	21.7%
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	1,043	38.0%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	256	9.3%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	626	22.8%
個人情報が流出していること	1,369	49.8%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること	851	31.0%
わからない	159	5.8%
その他	34	1.2%
無回答	113	4.1%



【性別】

性別で見ると、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること」（男性15.9%：女性29.0%）は、女性が13.1ポイント上回っている。「差別を助長する表現を掲載すること」（男性27.4%：女性16.8%）では、男性が10.6ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が、各年代とも最も多く、その中でも20歳代が81.9%と最も高くなっている。

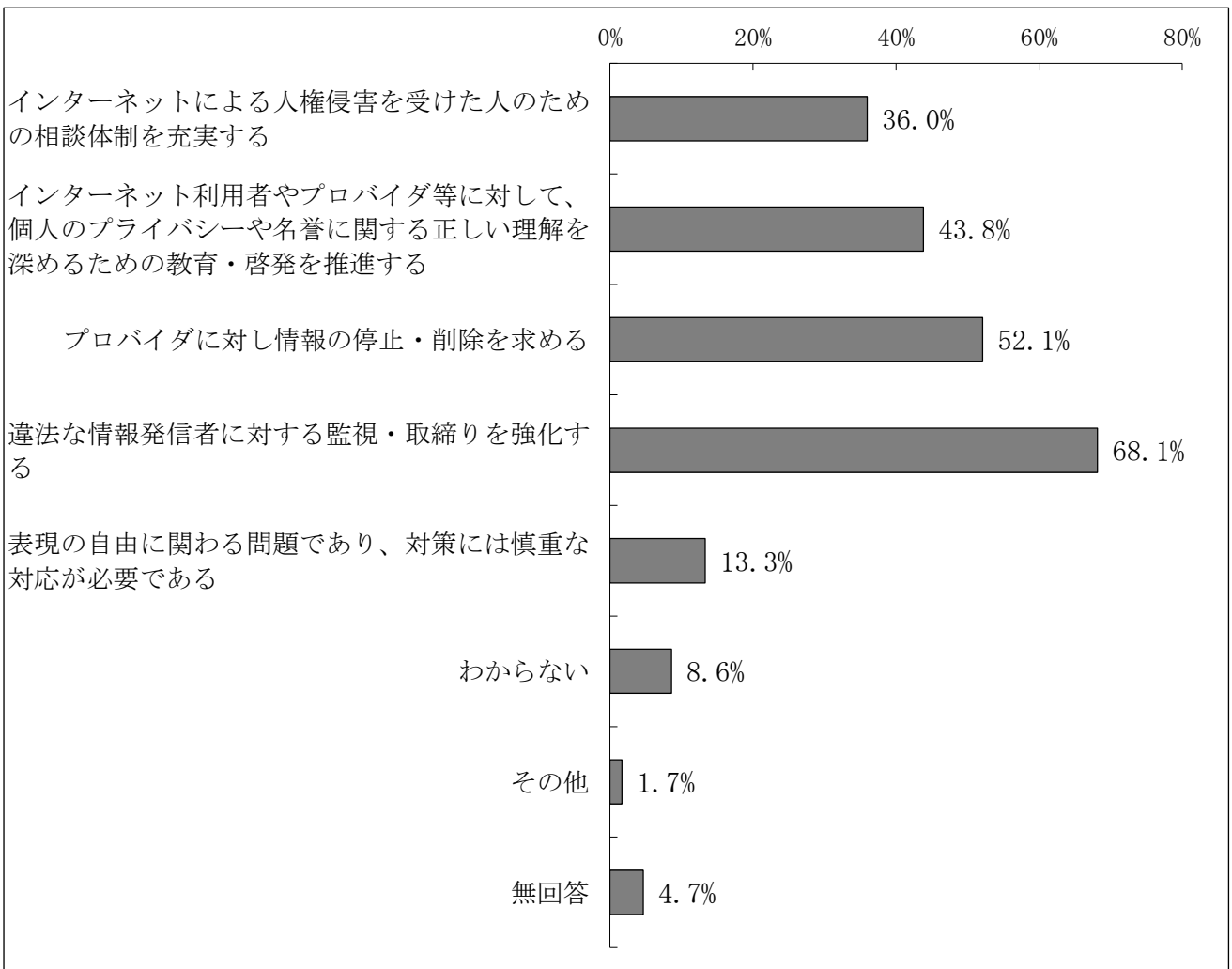
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	81.9%	76.5%	77.6%	78.7%	67.0%	55.2%
差別を助長する表現を掲載すること	25.1%	25.5%	24.3%	23.6%	22.0%	13.2%
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	26.0%	27.3%	31.9%	37.5%	45.4%	50.0%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	10.2%	10.5%	9.9%	11.8%	9.5%	5.4%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	16.7%	23.5%	24.0%	23.1%	24.6%	21.6%
個人情報が流出していること	65.6%	59.9%	59.0%	56.9%	42.0%	29.7%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること	33.0%	29.6%	28.3%	36.3%	30.5%	30.6%
わからない	1.4%	2.3%	1.6%	1.6%	6.9%	17.0%
その他	2.8%	1.0%	1.2%	0.5%	1.4%	1.3%
無回答	0.5%	0.5%	1.7%	1.4%	5.7%	9.7%

問25 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。
次の中から3つまでお選びください。

【全体】

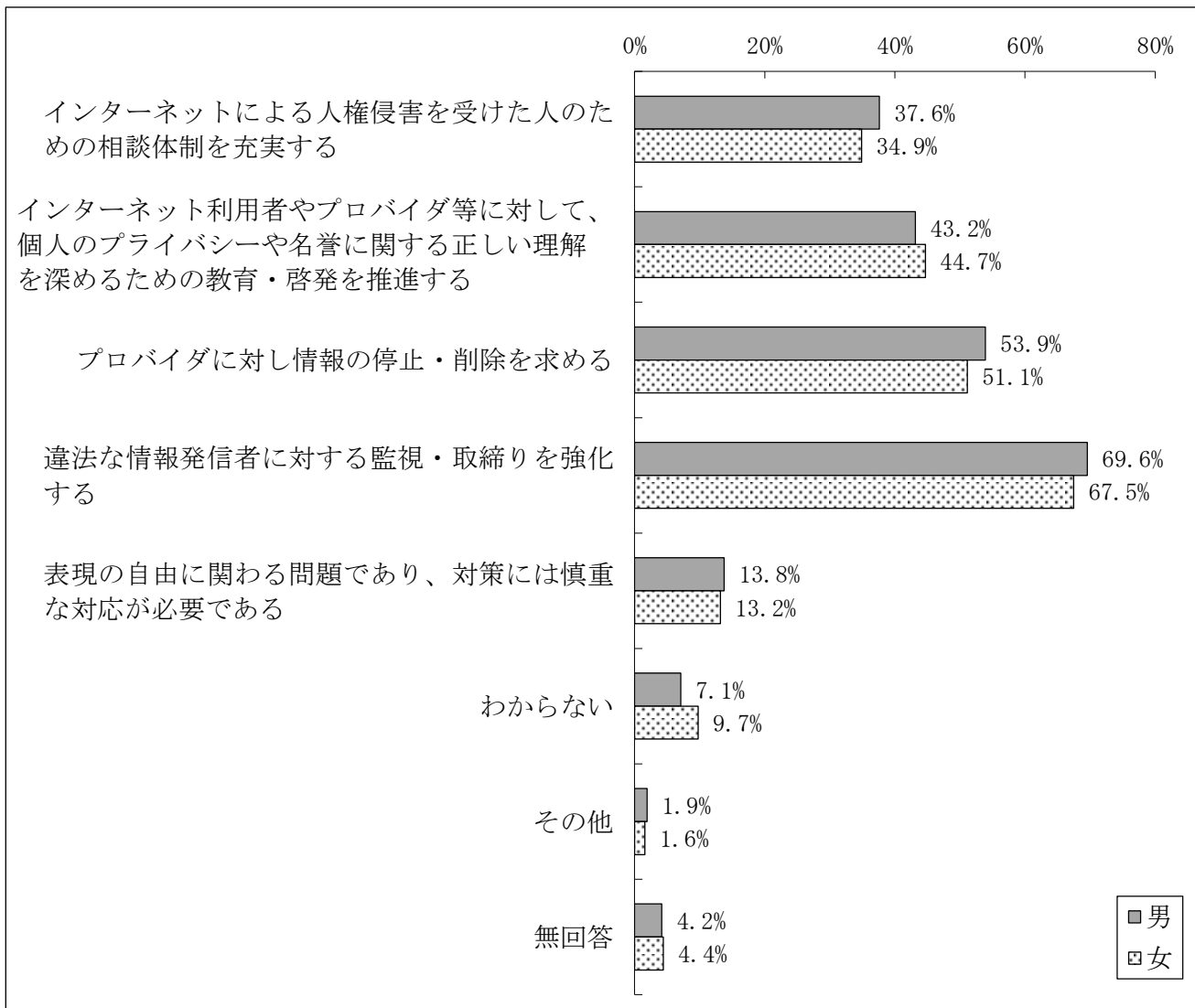
インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が68.1%と最も高く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が52.1%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が43.8%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	988	36.0%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	1,204	43.8%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	1,431	52.1%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	1,872	68.1%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	366	13.3%
わからない	237	8.6%
その他	47	1.7%
無回答	128	4.7%



【性別】

男女の回答に大きな差は見られない。



【年齢別】

年齢別では、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が、各年代とも最も高く、その中でも50歳代が75.7%と最も高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	29.3%	31.4%	34.7%	42.6%	38.0%	36.4%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	47.0%	44.1%	42.9%	45.4%	45.8%	40.3%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	45.1%	57.4%	57.3%	63.0%	51.3%	38.8%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	71.6%	70.7%	72.7%	75.7%	68.0%	55.0%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	28.8%	12.8%	11.8%	11.3%	12.0%	12.1%
わからない	3.3%	5.1%	3.5%	5.1%	11.0%	19.4%
その他	4.2%	2.3%	2.3%	1.6%	0.7%	0.9%
無回答	0.0%	0.8%	2.6%	1.4%	6.0%	11.2%

9 人権問題への取組について

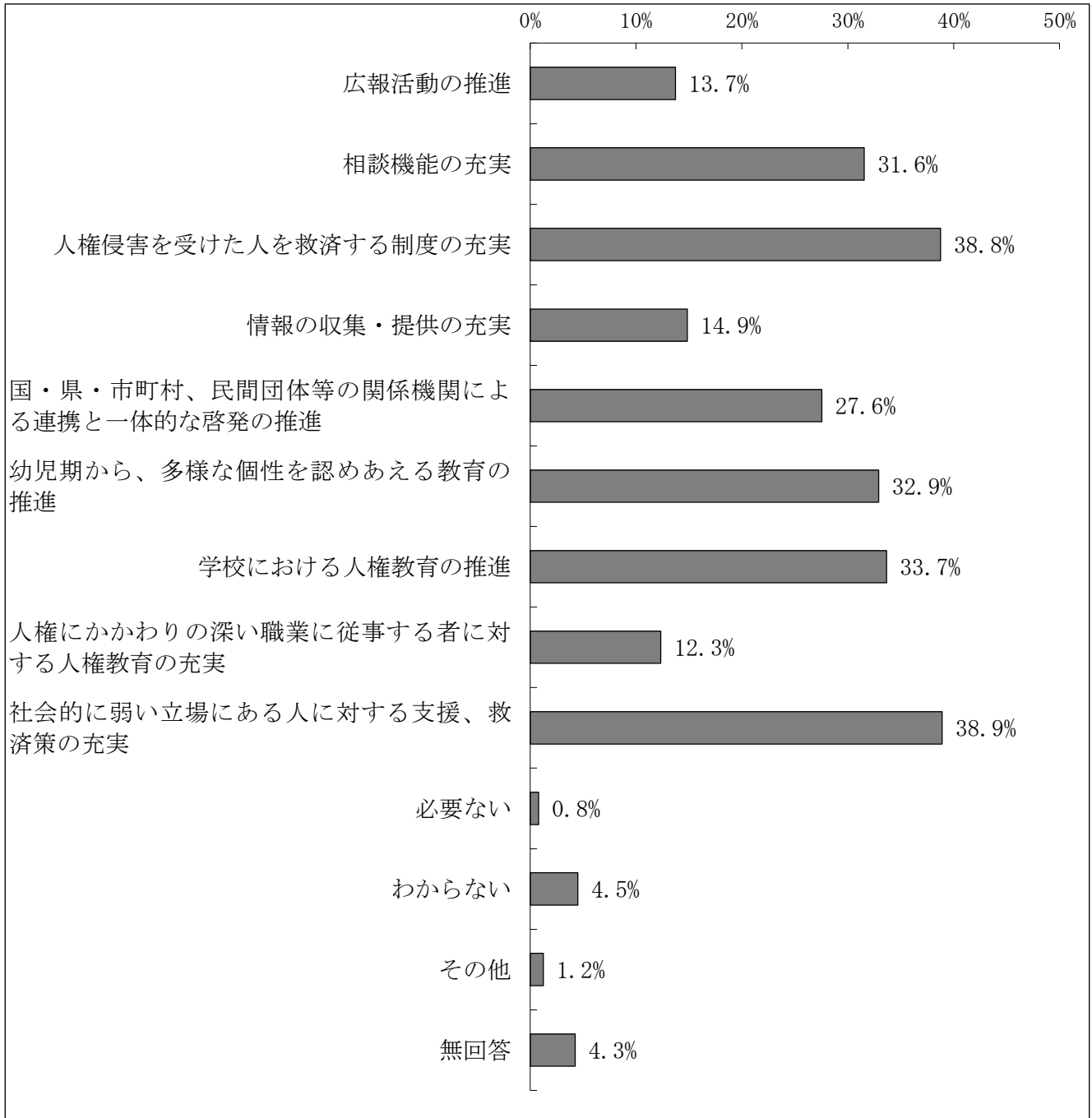
問26 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

【全体】

今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについては、「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が38.9%と最も高く、次いで「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が38.8%、「学校における人権教育の推進」が33.7%と続いている。

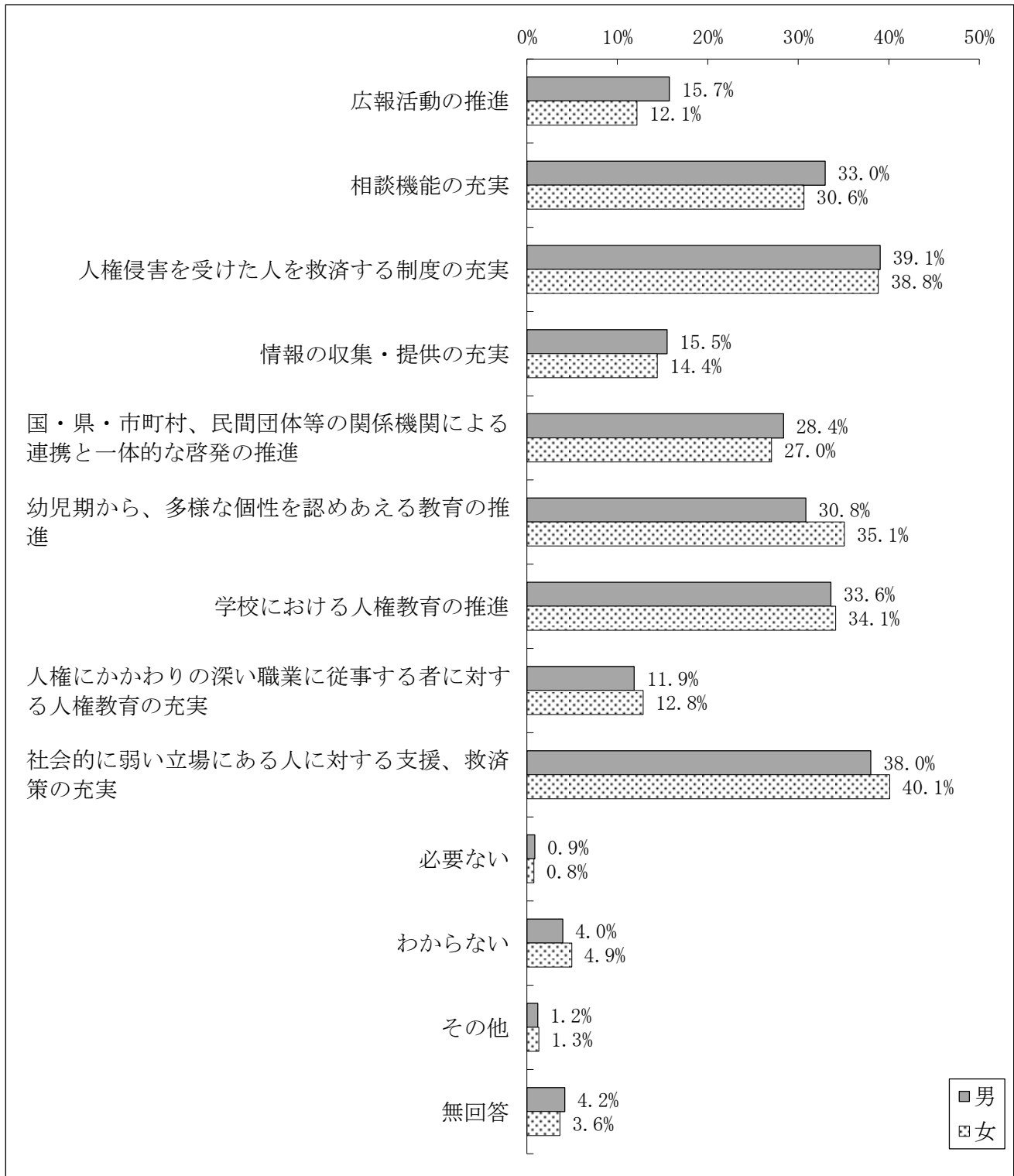
選択項目	回答数	構成比
広報活動の推進	377	13.7%
相談機能の充実	867	31.6%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	1,065	38.8%
情報の収集・提供の充実	408	14.9%
国・県・市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	757	27.6%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	904	32.9%
学校における人権教育の推進	925	33.7%
人権にかかわりの深い職業に従事する者に対する人権教育の充実	339	12.3%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	1,069	38.9%
必要ない	22	0.8%
わからない	124	4.5%
その他	34	1.2%
無回答	117	4.3%

調査結果の概要



【性別】

性別で見ると、女性は「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が35.1%で、男性の30.8%を4.3ポイント上回っている。「広報活動の推進」については、男性が15.7%で、女性の12.1%を3.6ポイント上回っている。その他の項目については、男女の回答に大きな差は見られない。



【年齢別】

年齢別では、「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が、40歳代39.6%、60歳代43.4%と各選択肢の中で最も高い。「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」では、50歳代が44.7%と高い。また、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が、20歳代44.2%、30歳代44.6%と若い年代の方が比較的高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
広報活動の推進	10.2%	9.2%	11.6%	10.9%	15.5%	21.1%
相談機能の充実	25.6%	26.3%	33.0%	34.3%	34.6%	31.5%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	39.1%	38.0%	37.0%	44.7%	40.4%	35.1%
情報の収集・提供の充実	20.9%	18.6%	18.2%	12.5%	12.0%	11.2%
国・県・市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	20.0%	21.2%	23.1%	29.6%	33.2%	32.8%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	44.2%	44.6%	34.5%	33.8%	27.2%	24.3%
学校における人権教育の推進	36.7%	36.0%	37.5%	34.7%	32.4%	28.0%
人権にかかわりの深い職業に従事する者に対する人権教育の充実	11.2%	12.0%	12.0%	15.0%	13.1%	10.8%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	38.1%	36.2%	39.6%	40.3%	43.4%	34.7%
必要ない	0.5%	2.0%	0.7%	0.9%	0.5%	0.4%
わからない	4.2%	3.8%	4.0%	3.2%	3.8%	7.6%
その他	2.8%	2.3%	2.1%	1.2%	0.2%	0.2%
無回答	0.9%	0.8%	1.9%	1.9%	5.3%	9.9%